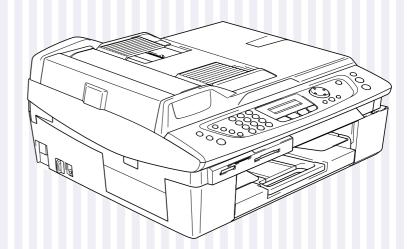
MFC-425CN

ユーザーズガイド

- ご使用の前に
- ファクス
- 電話帳
- 転送・リモコン機能
- コピー
- フォトメディアキャプチャ
- こんなときは

やりたいこと目次

やりたいこと別の一覧があります。
10ページをご覧ください。

プリンタ・スキャナ

プリンタ機能、スキャナ機能や、ネットワークプリンタ機能については付属のCD-ROMに収録されているHTMLマニュアルをご覧ください。

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、下記お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）にお気軽にお問い合わせください。

※電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

お客様相談窓口

0570−031523

全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

受付時間：月〜金　9：00 〜 20：00
　　　　　土　　　9：00 〜 17：00

※上記番号がつながりにくいときは、「**052−824−5149**」にご連絡ください。

日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。

サービス＆サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：http://solutions.brother.co.jp

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

Version B

ユーザーズガイドの構成

本機には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

かんたん設置ガイド

本機をお使いいただくための準備について記載しています。

ユーザーズガイド（本書）

ファクス、コピー、フォトメディアキャプチャ、本機のお手入れ、困ったとき、などについて記載しています。

CD-ROM

付属の CD-ROM には、本書の内容も含めたユーザーズガイドが HTML 形式で収録されています。また、ネットワークプリンタ、ネットワークスキャンなどネットワーク環境で使う機能についても説明しています。

- Windows® をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューからユーザーズガイド（HTML 形式）を閲覧できます。
  [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] ー [Brother] ー [MFC-425CN] ー [ユーザーズガイド] を選んでください。
- 最新のユーザーズガイドは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。

本書のみかた

■ 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
（メモアイコン）	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
（矢印）	本書内での参照先を記載しています。
パソコン活用編	HTML マニュアルへの参照先を記載しています。

ユーザーズガイド（HTML 版）の表示画面と操作

HTML マニュアルの表示画面と操作を簡潔に説明します。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	各機能のページ（章）に移動します。
③	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 文字入力／機能一覧／仕様／用語集／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内を説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」 ネットワーク接続でご利用になる場合の内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 HTML マニュアルの印刷方法を説明しています。
④	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑤	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	各機能のページ（章）に移動します。
③	現在のページを印刷します。
④	操作内容を表示します。
⑤	次のページに移動します。
⑥	現在のページの最上部に移動します。
⑦	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑧	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」 ネットワーク接続でご利用になる場合の内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 HTML マニュアルの印刷方法を説明しています。
⑨	大見出しです。
⑩	中見出し・小見出しです。
⑪	トップページに移動します。

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

	「してはいけないこと」を示しています。		「しなければいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「水ぬれ禁止」を示しています。		

注意

- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI ）の基準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0570-031523」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください。（⇒ 67 ページ「電話帳リストを印刷する」、⇒73 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」）本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（裏表紙）へご注文ください。

使用についてのご注意

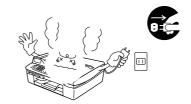
⚠ 警告

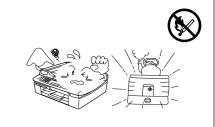
故障、火災、感電、やけど、けがの原因になります。

● 分解､改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。分解、改造した場合は保障の対象外になります。

● 煙が出たり､変なにおいがしたときは､すぐに電源プラグや AC アダプタをコンセントから外し､コールセンターにご相談ください。

● 本機を落としたり、破損したときは、電源プラグをコンセントから外し、コールセンターにご相談ください。

● 内部に異物が入ったときは、電源プラグをはずして、コールセンターにご相談ください。

● 本機に水や薬品､ペットの尿などの液体が入ったりしないよう､またぬらさないようにご注意ください。万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

● 火気を近づけないでください。

⚠ 注意

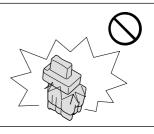
火災、感電、やけど、けがの原因になります。

● 長期不在するときは、安全のため電源プラグをコンセントから外してください。

● 本体カバーを閉めるときに、指などをはさまないでください。

● インク挿入口に手や異物を入れないでください。

● 本機底面の■部分に手を触れないでください。

● インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入らないように注意してください。
● インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。
● 誤ってインクを飲まないでください。
● インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクカートリッジからインクが漏れることがあります。

正しくお使いいただくために

本機の使用について

- **動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。**
  誤動作の原因となります。

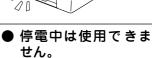
- **本機の前方には物を置かないでください。**
  記録紙の排出の妨げになります。

- **本機の上に重い物を置いたり、強く押さえたりしないでください。誤動作の原因となります。**

- **指定以外の部品は使用しないでください。**
  誤動作の原因となります。

- **室内温度を急激に変えないでください。**
  装置内部が結露するおそれがあります。

- **海外通信をご利用になるとき、回線の状況により正常な通信ができないときがあります。**

- **NTT の支店･営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。最寄りの NTT の支店、営業所へご相談ください（116 番）。**

- **停電中は使用できません。**
  本機はＡＣ電源を必要としているため、停電時は使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話（ＡＣ電源を必要としない電話機）をご用意いただくことをおすすめします。

- **しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。**

- **記録紙は直射日光、高温、高湿を避けて保管してください。**

- **本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。**
  温度：10 ～ 35 ℃
  湿度：20 ～ 80％
  （結露なし）

- **記録部にはさわらないでください。**

- **本機を持ち上げるときは、本機の底面を持ってください。本体カバーを持つと、本機が傾いてしまいます。**

- **インクカートリッジを分解しないでください。インクが漏れる原因になります。**

- **インクの補充はできません。必ず弊社指定のインクカートリッジをお使いください。指定以外のインクを使用すると、プリントヘッドなどを損傷する原因になります。**

目　次

付　録 131

プリンタ、スキャナ、PC-FAX、フォトメディアキャプチャなど、パソコンを接続して使用する機能

HTML マニュアル

やりたいこと目次

■ ファクス

● **ファクスを自動で受ける**

● **着信音を鳴らさずにファクスを受ける**

[受信モード、着信音の設定]

電話に出ずにファクスを受けたり、着信音を鳴らさずに受けたりできます。

ユーザーズガイド(本書)

● **ナンバー・ディスプレイを利用する**

かけてきた相手の番号、名前、日付を液晶ディスプレイで確認できます。

ユーザーズガイド(本書)

● **短縮ダイヤルを使って電話をかける**

[電話帳&短縮ダイヤル]

本機の電話帳に電話番号を登録しておくと、簡単な操作でダイヤルすることができます。パソコンと接続している場合は、パソコンで電話帳を作成・変更できます。

ユーザーズガイド(本書)

● **外出先から本機を操作する**

[リモコンアクセス]

外出先から本機を操作して、留守中にファクスが届いているかを確認できます。

● **指定した時間にファクスを送る**

[タイマー送信]

指定した時間に自動的にファクスを送ることができます。同じ相手に同時刻に送るファクスが複数ある場合は、1回の通信でまとめて送ることもできます。

● **他のファクシミリにファクスを転送する**

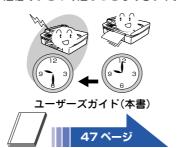
[ファクス転送]

本機が受信したファクスを指定したファクシミリに転送できます。

ユーザーズガイド(本書)

● **複数の相手に同じ文書を送る**

[同報送信]

相手先をグループとして登録しておくと、簡単な操作で同じファクスを複数の人に送ることができます。

ユーザーズガイド(本書)

● **カラーファクスを送信・受信する**

ITU-T. 30E に準拠したカラーファクス機能を搭載しています。他社のカラーファクスと送受信する場合も、同規格に準拠していれば、カラーファクスを送受信できます。

ユーザーズガイド(本書)

40 ページ

● **受信側ファクシミリから操作してファクスを受け取る**

[ポーリング送信・受信]

受信側からの操作で、送信側の原稿を受け取るポーリング受信・送信が行えます。FAX サービスなどで使われています。

ユーザーズガイド(本書)

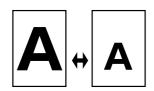
■ コピー

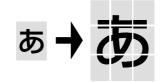
● **拡大・縮小コピーする**
25%～400%まで、倍率を指定してコピーできます。

ユーザーズガイド（本書）

● **ポスターを作る**
A4 サイズの紙面を 9 倍に拡大してコピーできます。

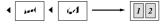
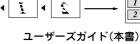
ユーザーズガイド（本書）

● **複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする**
［2 in 1 & 4 in 1］
2 枚、または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙にコピーできます。

ユーザーズガイド（本書）

● **画質を調整する**
高速、標準、高画質の 3 つのモードが用意されています。原稿のタイプや用途に合わせて画質を選んでコピーできます。

ユーザーズガイド（本書）

● **複数の原稿を連続してコピーする**
［ADF（自動原稿送り装置）］
複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーできます。

ユーザーズガイド（本書）

79 ページ

■ フォトメディアキャプチャ

● **メモリーカードにある写真を印刷する**
［デジカメプリント］
パソコンがなくても、コンパクトフラッシュ®、スマートメディア®などデジタルカメラのメモリーカードから直接、写真を印刷できます。

ユーザーズガイド（本書）

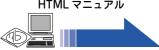
● **スキャンした画像をメモリーカードに保存する**
［スキャン TO カード］
スキャンした原稿をパソコンを使用せずに直接メモリーカードに保存できます。

ユーザーズガイド（本書）

● **メモリーカードをリムーバブルディスクとして利用する**
カードスロットにセットしたメモリーカードは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

HTML マニュアル

● **ネットワークでメモリーカードを利用する**
［ネットワークメディアカードアクセス］
ネットワークで接続された複数のパソコンから、本機のカードスロットにセットしたメモリーカードにアクセスできます。

HTML マニュアル

HTML マニュアルは、付属の CD-ROM に収録されています。Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューからも閲覧できます。⇒ 1 ページ「ユーザーズガイドの構成」

■ プリンタ

● **プリンタとして使う**

本機とパソコンを接続して、プリンタとして利用できます。

HTML マニュアル

● **記録紙いっぱいに印刷する［ふちなし印刷］**

余白が出ないように、記録紙いっぱいに印刷できます。写真やハガキを印刷するときに便利です。

HTML マニュアル

● **設定を選んで印刷する［おまかせ印刷］**

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、簡単に印刷できます。（Windows® のみ）

HTML マニュアル

● **ネットワークプリンタとして使う**

本機をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

HTML マニュアル

■ スキャナ

● **原稿をスキャンしてパソコンに保存する**

本機とパソコンを接続して、スキャナとして利用できます。

HTML マニュアル

● **文字を修正できるようにスキャンする［Brother 日本語 OCR］**

スキャンした画像データを解析して、文書（テキスト）データに変換できます。（Windows® のみ）

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
－記－
参加：管理職
人数：10人

HTML マニュアル

● **ネットワークスキャナとして使う**

本機をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。（パソコンにスキャンボタンの登録が必要です。）

HTML マニュアル

● **決まった設定でスキャンする［Control Center2］**

あらかじめ、よく使う設定を登録しておくと、ボタンをクリックするだけで設定した内容でスキャンができます。（Mac OS 9.1～9.2 を除く）

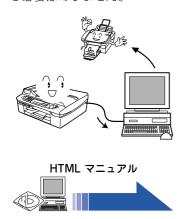
HTML マニュアル

HTML マニュアルは、付属の CD-ROM に収録されています。Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューからも閲覧できます。⇒ 1 ページ「ユーザーズガイドの構成」

■ PC-FAX

● **パソコンからファクスを送る［PC-FAX 送信］**

パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。

HTML マニュアル

● **アドレス帳を利用する［PC-FAX アドレス帳］**

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows® の場合は、Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。

HTML マニュアル

● **受信したファクスをパソコンで確認する［PC-FAX 受信］**

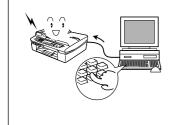
受信したファクスを本機と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）

ユーザーズガイド（本書）

74 ページ

■ その他

● **本機の設定をパソコンから変更する［リモートセットアップ］**

パソコンを使って電話帳を作成したり、本機の設定を変更したりできます。（Mac OS 9.x を除く）

ユーザーズガイド（本書）

68 ページ

● **本機のインク残量を確認する・印刷テストをする**

ボタンを押して、インク残量の確認や、印刷テスト、ヘッドクリーニングなどが行えます。

ユーザーズガイド（本書）

111 ページ

● **パソコンからインク残量を確認する［ステータスモニタ］**

現在のインク残量を確認できます。

HTML マニュアル

● **スキャナ、PC-FAX などをかんたんに起動する［Control Center2］**

スキャナや PC-FAX、リモートセットアップ機能などをかんたんに起動できるソフトウェア「Control Center2」を使用できます。（Mac OS 9.1 〜 9.2 を除く）

HTML マニュアル

HTML マニュアルは、付属の CD-ROM に収録されています。Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューからも閲覧できます。⇒ 1 ページ「ユーザーズガイドの構成」

第 1 章

ご使用の前に

かならずお読みください

お好みで設定してください

各部の名称とはたらき　かならずお読みください

■ 正面図

■ 内面図

ネットワーク（LAN）ポート

ネットワークケーブル（LAN ケーブル）を接続します。

USB ケーブル接続端子

パソコンと接続するUSBケーブルを接続します。

本体カバー

本体カバーサポート

インク挿入口

インクカートリッジをセットします。

■ 操作パネル

ヘッドクリーニングボタン
ヘッドクリーニングを行います。
⇒ 112 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
テストプリントボタン
印刷テストを行います。
⇒ 113 ページ「印刷品質をチェックする」
受信設定ボタン
ファクスの受信モードを設定します。
⇒ 30 ページ「受信モードを選ぶ」
オンフックボタン
ファクスを手動送信するときに押します。
⇒ 44 ページ「相手先の受信音を確認してから送る」
液晶ディスプレイ
現在の日時や操作方法を案内するメッセージが表示されます。
テストプリント
ヘッドクリーニング
インク残量
受信設定
再ダイヤル／ポーズ
オンフック
レポート
1 ア
2 カ ABC
3 サ DEF
4 タ GHI
5 ナ JKL
6 ハ MNO
7 マ PQRS
8 ヤ TUV
9 ラ WXYZ
トーン
＊ 記号1
0 ワ
＃ 記号2
デジカメプリント
コピー
ダイヤルボタン
ダイヤルするとき、文字を入れるとき
（⇒ 132 ページ「文字の入れかた」）などに押します。
レポートボタン
各種レポートやリストを印刷します。
再ダイヤル／ポーズボタン
最後にダイヤルした番号にダイヤルするとき、
ファクス番号にポーズを入力するとき
（⇒ 132 ページ「文字の入れかた」）に押します。
インク残量ボタン
インク残量を確認します。
⇒ 111 ページ「インク残量を確認する」

ナビゲーションキー

電話帳／短縮

電話帳から検索するときに押します。
⇒ 43 ページ「電話帳・短縮ダイヤルを使う」

音量を小さくします。

音量を大きくします。

電源ボタン

電源を On/Off するときに押します。（⇒ 21 ページ「電源ボタンについて」）電源を Off にした場合でも、定期的にヘッドクリーニングを行います。

停止／終了ボタン

操作を中止するときや設定を終了したときに押します。

モノクロ／カラースタートボタン

ファクスを送信するときや原稿をコピーまたはスキャンするときなどに押します。

モードボタン

デジカメプリント／コピー／ファクス／スキャンの各モードに切り替えます。
⇒ 20 ページ「モードについて」

ファクス画質ボタン

送信する原稿にあわせて画質を一時的に変えるときに押します。
⇒ 44 ページ「一時的に画質を変えて送る」

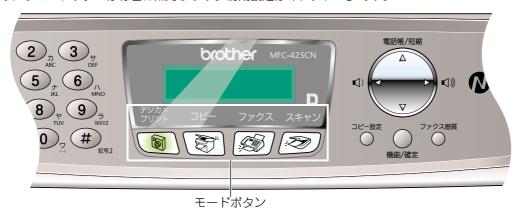
機能／確定ボタン

機能を設定するときや設定した機能を確定（決定）するときに押します。

コピー設定ボタン

コピーの設定を一時的に変えるときに押します。
⇒ 81 ページ「一時的に設定を変えてコピーする」

モードについて

操作パネルのモードボタンでファクス、コピー、スキャン、デジカメプリントの各モードに切り替えることができます。
現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。初期設定は「ファクス」です。

■ モードタイマーを設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。「Off」を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は「2 フン」に設定されています。

1 機能/確定、1、1 **を押す**

◆ **モードタイマーの設定画面が表示されます。**

キホン　セッテイ
1.モード　タイマー

2 **で、ファクスモードに戻る時間を選び、** 機能/確定 **を押す**

時間は「0 ビョウ」「30 ビョウ」「1 フン」「2 フン」「5 フン」「Off」から選びます。

3 停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本機の電源を On ／ Off できます。電源を Off にした場合でも、印刷品質を維持するために本機のヘッドクリーニングを定期的に行います。

■ 電源ボタンを Off にする

1 On/Off **を 2 秒以上押す**

◆ 液晶ディスプレイに「デンゲンヲ オフニシマス」と表示されたあと、液晶ディスプレイの表示が消え、本機の電源が Off になります。

■ 電源ボタンを On にする

1 On/Off **を 2 秒以上押す**

◆ 液晶ディスプレイに「オマチクダサイ」と表示されたあと、電源が On になります。液晶ディスプレイには、現在の日時が表示されます。（ファクスモード）

■ 電源 Off 時の動作を設定する

電源ボタンで本機の電源を Off にしていても、「ヨビダシヲ　スル」に設定していると、ファクスを受信したりタイマー送信（⇒ 47 ページ「時間を指定して送る」）をしたりすることができます。「ヨビダシヲ　シナイ」に設定しているときは、ファクスが送られてきても受信しません。お買い上げ時は、「ヨビダシヲ スル」に設定されています。

1 機能/確定、1 ア、4 タ GHI **を押す**

◆ 電源 Off 設定の設定画面が表示されます。

キホン　セッテイ
4. デンゲン Off　セッテイ

2 **で、電源を Off にしたときの動作を選び、** 機能/確定 **を押す**

設定は以下から選びます。

●「ヨビダシヲ スル」：
電源を Off にしていても、ファクスを受信したり、タイマー送信を行うことができます。選択している受信モード（⇒ 30 ページ「受信モードを選ぶ」）によっても動作が異なります。

受信モード	電源 OFF 時にできる機能
ファクス専用モード 自動切替モード 外付留守電モード	・ファクス受信 ・親切受信（55 ページ） ・タイマー送信（47 ページ） ・リモートアクセス機能を使った本機のリモートコントロール（71 ページ）
電話モード	・親切受信 ・タイマー送信

※手動でファクスを受信することはできません。

※タイマー送信、ファクス転送を行う場合は、あらかじめ電源が入っているときに設定しておく必要があります。

●「ヨビダシヲ シナイ」：
電源を切るとファクスの送信・受信ができなくなります。

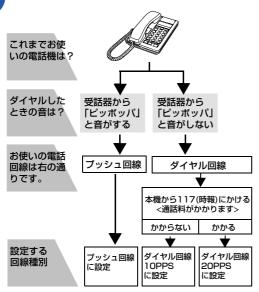
3 停止/終了 **を押す**

◆ 設定を終了します。

回線種別を設定する

手動で回線種別を設定するときは、以下の操作で行います。

1 電話回線の種別を確認する

2 本機の 機能/確定 0 3 を押す

◆ 回線種別設定の設定画面が表示されます。

ショキ　セッテイ
3. カイセンシュベツ　セッテイ

3 で回線種別を選ぶ

回線種別は、「プッシュカイセン／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル 20PPS ／ジドウ　セッテイ」から選びます。

4 機能/確定 を押す

◆ 回線種別が設定されます。

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はファクスモード中に液晶ディスプレイに表示され、ファクス送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 機能/確定 0 1 を押す

◆ 時刻を設定する画面が表示されます。

ショキ　セッテイ
1. トケイ　セット

2 西暦の下 2 桁を入力し、機能/確定 を押す

例：2005 年の場合は 0 5 を押します。

3 月を 2 桁で入力し、機能/確定 を押す

例：8 月の場合は 0 8 を押します。

4 日付を 2 桁で入力し、機能/確定 を押す

例：21 日の場合はを 2 1 押します。

5 時刻を24時間制で入力し、機能/確定 を押す

例：午後 3時 25 分の場合は

1 5 2 5 を押します。

6 停止/終了 を押す

◆ 設定が終わり、ディスプレイに日付、時刻が表示されます。

08/21　15：25　Fax
ガシツ：ヒョウジュン

時刻はあくまで目安です。気になるときは、1 カ月おきに合わせ直してください。

■ 間違えて入力したときは

日付や時刻を間違えて入力したときは、停止/終了 を押して、始めから入力し直してください。

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。以下の説明をよくお読みになり、目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本機の「記録紙タイプ」（⇒ 27 ページ「記録紙の種類を設定する （コピー、ファクスのみ）」）またはプリンタドライバの「用紙種類」の設定を変更してください。
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷されることをお勧めします。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP60GLA（A4）､BP60GLLJ（L判）	20 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

専用紙は、ご注文シートを使ってダイレクトクラブでご購入いただけます。⇒ 115 ページ「消耗品を注文したいときは」

また、OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
・ Transparency 3M Transparency Film（型番：CG3410）

セットできる記録紙

記録紙トレイには、以下の種類の記録紙をセットできます。

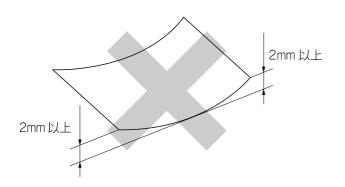
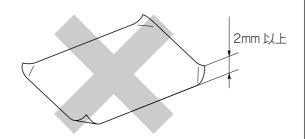
<table>
<tr><th rowspan="2">記録紙の種類</th><th rowspan="2">厚さ</th><th rowspan="2">記録紙トレイにセットできる枚数</th><th colspan="4">用紙サイズ</th></tr>
<tr><th>ファクス</th><th>コピー</th><th>デジカメプリント</th><th>プリンタ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">普通紙</td><td rowspan="2">64g/m2 ～ 120g/m2
（0.08mm ～ 0.15mm）</td><td>100</td><td>A4</td><td>A4、B5、A5</td><td>A4</td><td>A4、レター、エグゼクティブ、B5(JIS)、A5、A6</td></tr>
<tr><td>50</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>リーガル</td></tr>
<tr><td>インクジェット紙</td><td>64g/m2 ～ 200g/m2
（0.08mm ～ 0.25mm）</td><td>20</td><td>－</td><td>A4、B5</td><td>A4</td><td rowspan="3">A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、リーガル、L判（＊1）、2L判（＊2）</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>220g/m2 以下
（0.25mm 以下）</td><td>20</td><td>－</td><td>A4、B5</td><td>A4、L判（＊1）、2L判（＊2）</td></tr>
<tr><td>OHP フィルム</td><td>0.13mm 以下</td><td>10</td><td>－</td><td>A4、B5</td><td>－</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>75g/m2 ～ 95g/m2</td><td>10</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>DL 封筒、COM-10、C5 封筒、モナーク、洋形 4 号封筒</td></tr>
<tr><td>ポストカード</td><td>0.28mm 以下</td><td>20</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td rowspan="2">102mmX152mm、127mmX208mm</td></tr>
<tr><td>インデックスカード</td><td>120g/m2 以下
（0.15mm 以下）</td><td>30</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>はがき</td><td>0.23mm 以下</td><td>30</td><td>－</td><td>100mmX148mm、200mmX148mm</td><td>－</td><td>100mmX148mm、148mmX200mm</td></tr>
</table>

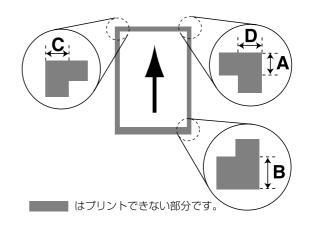
（＊ 1）89mm × 127mm、（ ＊ 2）127mm × 178mm

注意

- ■ **ファクスは A4 の記録紙でのみ印刷できます。**
- ■ **指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。**
  ・傷がついている記録紙・カールしている記録紙・シワのある記録紙・留め金のついた記録紙
  ・すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- ■ **指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。**
- ■ **往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。**

■ カールしている記録紙について

特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。

記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D、はそれぞれ対応しています。

（単位：mm）

記録紙	A	B	C	D
A4 エグゼクティブ 官製はがき レター・リーガル	3	3	3	3
洋形４号	12	24	3	3

※ 印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタドライバによっても変わることがあります。

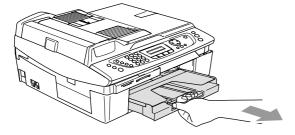
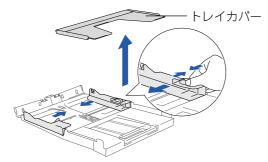
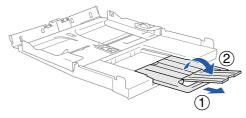
 上記の数値は、プリンタ機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はプリンタドライバによって異なります。

記録紙のセットのしかた

注意

- ■ 光沢紙をセットするときは、印刷面に直接手を触れないようにしてください。
- ■ ブラザー専用光沢紙（A4：BP60GLA）をセットするときは、用紙に同梱の使用説明書（厚紙）を記録紙トレイにセットしてからその上に光沢紙をセットしてください。
- ■ インクジェット紙、光沢紙、OHPフィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 記録紙トレイにセットできる記録紙は、▼マークの位置までです。▼マークの位置より少ないことを確認してください。
- ■ 記録紙を強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。
- ■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■ 普通紙をセットする場合

1 本機から記録紙トレイを引き出す

2 トレイカバーを外し、幅のガイドを用紙に合わせる

3 長さのガイドを引き出し（①）、記録紙ストッパーを開く（②）

4 記録紙をさばく

紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。

5 印刷したい面を下にして記録紙をセットし（①）、トレイカバーをかぶせる（②）

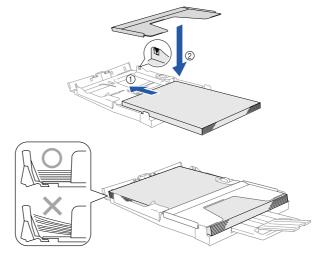
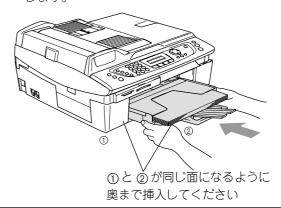
記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。

記録紙が記録紙トレイの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。また、幅のガイドが記録紙の幅にあっていることを確認してください。

6 記録紙トレイを元にもどす

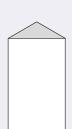
本機から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

①と②が同じ面になるように
奥まで挿入してください

長さのガイドを最大限に引き出し、記録紙ストッパーは常に開いた状態で記録紙トレイをセットしてください。

■ 封筒をセットする場合

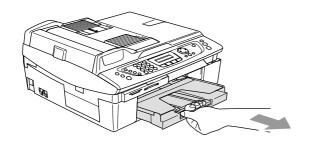
注意

- ■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。
- ■ 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- ■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
  - ・ 窓付き封筒・エンボス加工がされたもの・留め金のついたもの
  - ・ 内側に印刷がほどこされているもの
  - ・ ふたにのりが付いているもの
  - ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

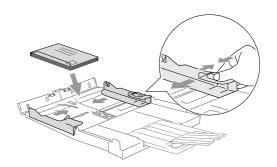
・ ふたが円弧、または三角のもの

1 封筒の端をそろえて、まっすぐにする

四隅を揃え、封筒を押さえて中の空気を抜いて、平らにしてください。

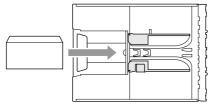
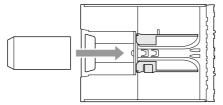
封筒がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。

2 本機から記録紙トレイを引き出す

3 印刷したい面を下にして封筒を記録紙トレイにセットし、幅のガイドをあわせる

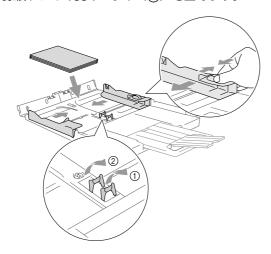
封筒の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。

封筒が記録紙トレイの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。

4 記録紙トレイを元にもどす

本機から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

うまく印刷できない場合は、以下の内容をお試しください。
- 使用しているアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。
- 封筒のふたが折りたたまれた状態でうまく印刷できないときは、ふたを伸ばして印刷をしてみてください。

- 封筒のふたが下の図のようについている場合は、封筒を横長・横書きで使用してください。（縦長・縦書きでの印刷はできません。）このとき、ふたのない方向から給紙してください。

- 縦長の封筒を給紙する場合、ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。

■ ハガキ、L判サイズの記録紙をセットする場合

ハガキをセットする場合は記録紙トレイの手前のつまみ（①）を、L判サイズの記録紙をセットする場合は記録紙トレイの奥のつまみ（②）を立てます。

■ 光沢紙をセットする場合

光沢紙は、紙を良くさばいてセットします。枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している補助紙を合わせてセットします。

注意

■ **補助紙を使っても光沢紙がうまく引き込まれないとき（光沢紙が2～3枚づつ送られたりするとき）は、補助紙を外して光沢紙を1枚づつセットしてください。**

記録紙の種類を設定する（コピー、ファクスのみ）

通常よく使う記録紙に合わせて、「記録紙タイプ」を設定します。お買い上げ時は、「フツウシ」に設定されています。

コピーするときに一時的に記録紙の種類を変える
⇒83 ページ「記録紙の種類を変えてコピーする」

メモリーカードに保存されている画像を印刷するときの記録紙を設定する場合
⇒98 ページ「プリントサイズの設定を変える」

パソコンから印刷するときの記録紙を設定する場合は、HTML マニュアルをご覧ください。
⇒HTML マニュアル「プリンタ」

1 機能/確定 1ア 2カABC **を押す**

◆ **記録紙タイプの設定画面が表示されます。**

キホン　セッテイ
2. キロクシ　タイプ

2 **で記録紙タイプを選び、**機能/確定 **を押す**

記録紙タイプは、「フツウシ／インクジェットシ／コウタクシ／OHP フィルム」から選びます。

写真のような高画質な原稿を印刷するときは、「コウタクシ」を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷する時は、「インクジェットシ」を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

3 停止/終了 **を押す**

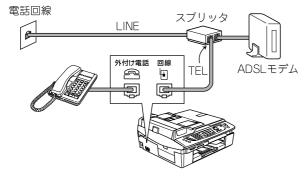
◆ **設定を終了します。**

第1章 ご使用の前に
第2章 ファクス
第3章 電話帳
第4章 転送・リモコン機能
第5章 コピー
第6章 フォトメディアキャプチャ
第7章 こんなときは
付録

いろいろな接続

ADSL をご利用の場合

本機を ADSL 環境で使用する場合は、本機を ADSL スプリッタの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。

スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。⇒40 ページ「ファクスを送る」

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

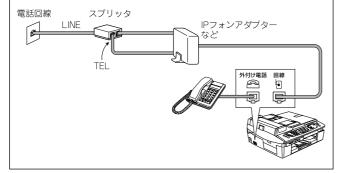
■ **ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本機とパソコンは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。**

■ IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 22 ページ「回線種別を設定する」

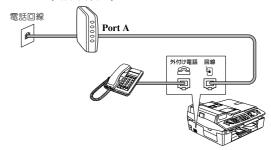
(2) IP 網を使用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。
通信品質が保証されている場合でも、通信がうまくいかないときは、安心通信モードに設定を変更してください。
⇒ 126 ページ「安心通信モードに設定する」

ISDN をご利用の場合

本機をISDN 回線のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本機：
  回線種別を「カイセン：プッシュ」に設定する
- ターミナルアダプタ ：
  本機を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

■ 電話番号が 1 つの場合

本機を、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。

■ 電話番号が 2 つの場合

本機を、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータのアナログポートに接続します。2 回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。

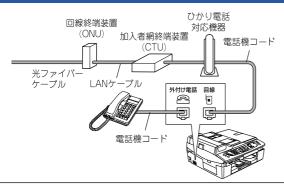
- 詳しい設定については、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

注意

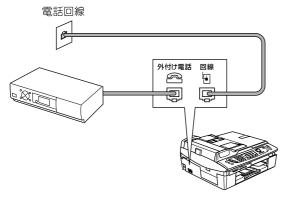
■ ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、「特別回線対応」で「ISDN」を設定してください。
⇒126ページ「特別な回線に合わせて設定する」

■ 本機が使用できないときは、⇒120 ページ「故障かな？と思ったときは」をご覧ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ側のデータ設定と、本機側の設定が必要です。⇒ 36 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスの設定をする」

ひかり電話に接続する場合

- ひかり電話についてのご質問は NTT にお問い合わせください。
- 加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などに設定するデータは、NTT から送付される資料をご覧ください。
- 回線終端装置（ONU）、加入者網終端装置（CTU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、NTT にお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

CS チューナーやデジタルテレビを接続する場合

本機と CS チューナーやデジタルテレビを接続するときは、外付け電話端子に接続してください。

構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

本機を構内交換機（PBX）などに接続する場合は、次のいずれかの方法で行います。

注意

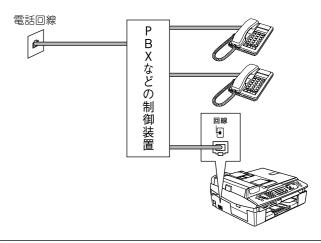
■ **構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒ 22 ページ「回線種別を設定する」**

- ビジネスホンとは
  電話回線を 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。
- ホームテレホンとは
  電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

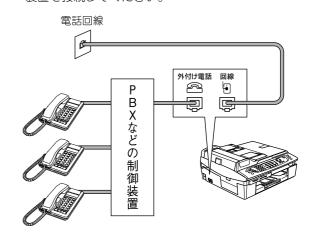
■ 本機を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本機を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

■ **本機の特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。⇒ 126 ページ「特別な回線に合わせて設定する」**

- PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。本機のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。⇒ 36 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスの設定をする」

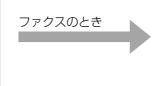
■ 本機の外付け電話としてホームテレホン、ビジネスホンを接続する

本機の外付け電話端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続してください。

受信モードを選ぶ

お使いの環境にあわせて、受信モードを選びます。お買い上げ時は、「ファクス専用モード」に設定されています。

電話機を接続しない

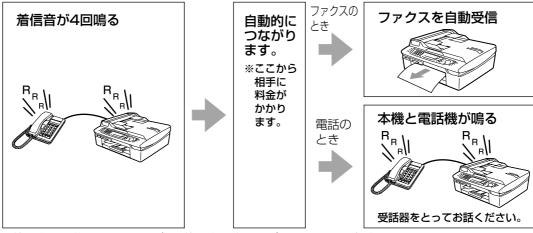
お買い上げ時

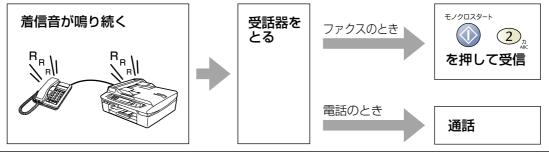
■ ファクス専用（FAX ＝ファクスセンヨウ）

※ 着信音の回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 33 ページ「呼出回数を設定する」

注意

■ ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。お使いの電話機を本機に接続する場合は、このモードに設定しないでください。

電話機を接続する（＊）

■ 自動で切り替える（F/T ＝ジドウキリカエ）

※着信音の回数を 0 回にすると、着信音を鳴らさずにファクスを自動受信できます。
⇒ 33 ページ「呼出回数を設定する」
※回線がつながった後に鳴る呼出音の回数も変更できます。
⇒ 33 ページ「再呼出回数を設定する」

■ 手動で切り替える（TEL ＝デンワ）

＊　ファクス付き電話は接続できません。

自動切替モードでは、本機が着信すると、本機と接続している電話機に出なかった場合でも相手に通話料金がかかります。

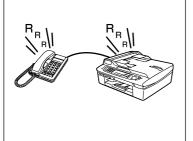
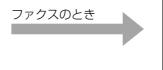
ファクスが自動受信されない場合は、モノクロスタート 2 を押して、手動でファクスを受信してください。

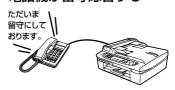
電話機を接続する（＊）

■ 外出するとき（ルス＝ソトヅケルスデン）

電話機で設定している回数着信音が鳴る

ファクスのとき

ファクスを自動受信

電話のとき

電話機が留守応答する

注意

■ 本機と接続している留守番電話機の設定は、以下のようにしてください。

- 本機と接続している留守番電話機の設定は「留守」にしてください。
- より確実に受信するために、呼出回数が設定できる機種では、応答するまでの呼出回数を短め（1～2回）に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20秒以内）に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に取り付けられていることを確認してください。

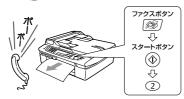
＊　ファクス付き電話は接続できません。

- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動受信しません。
- 留守番電話機の機能が一部使えなくなる場合があります。（転送機能など）

■ 着信音が鳴っている間に本機と接続している電話に出た場合

相手がファクスのとき

受話器から「ポーポー」という音が聞こえたら、相手がファクスです。

  ② を押してファクスを受信します。

※「親切受信」の設定を「On」にしている場合は、7秒待つと自動的にファクスを受信します。
⇒55ページ「電話に出ると自動的に受ける」

相手が電話のとき

そのまま通話できます。

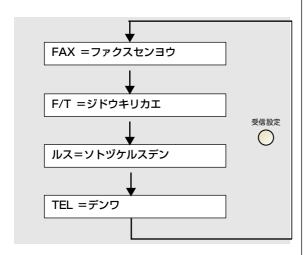
受信モードを設定する

本機の使用目的に応じて、受信モードを選びます。

受信モードを切り替えるときは、受信設定を押す

受信設定を押すごとに、受信モードが変更されます。

受信モードは以下から選びます。

- 「FAX ＝ファクスセンヨウ」:
  ファクス専用モードです。
- 「F/T ＝ジドウキリカエ」:
  自動切替モードです。
- 「ルス＝ソトヅケルスデン」:
  外付留守電モードです。
- 「TEL ＝デンワ」:
  電話モードです。

- ファクスモード中（ファクスが点灯しているとき）は、設定した受信モードが液晶ディスプレイに表示されます。
- 「FAX= ファクスセンヨウ」（ファクス専用モード）以外を選んだ場合は、必ずお使いの電話機を接続してください。

着信音の回数を設定する

■ 呼出回数を設定する

「ファクス専用モード」と「自動切替モード」の場合、自動受信するまでの呼出回数を設定します。
本機に接続されている電話機も、ここで設定した回数だけ着信音が鳴ります。
お買い上げ時は、「4 回」に設定されています。

1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

2 **機能/確定 2 1 1 を押す**

◆ 呼出回数の設定画面が表示されます。

```
ジュシン　セッテイ
1. ヨビダシ　カイスウ
```

3 **で、呼出回数を選び、機能/確定 を押す**

0 ～ 10 回から選びます。
「0 回」にすると、着信音を鳴らさずに自動受信（ノンコール着信）できます。

4 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

- お使いの電話機を接続している場合、本機の呼出回数を「0 回」に設定しても、お使いの電話機の着信音が 1 ～ 2 回鳴ることがあります。
- 呼出回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼出回数を 6 回以下に設定することをおすすめします。
- 本機に複数台の電話機を接続すると、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

■ 再呼出回数を設定する

「自動切替モード」の場合、電話がか かってくると着信音の後に「トゥルッ トゥルッ」と呼出音が鳴ります。この呼出音の鳴る回数を設定します。お買い上げ時は「8」に設定されています。

1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

2 **機能/確定 2 1 2 を押す**

◆ 再呼出回数の設定画面が表示されます。

```
ジュシン　セッテイ
2. サイ ヨビダシ　カイスウ
```

3 **で、再呼出回数を選び、機能/確定 を押す**

「8」「15」「20」の中から選びます。

4 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

- 設定した再呼出回数の間に電話に出なかった場合は、本機が自動的に電話を切ります。

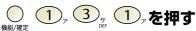
音量を設定する

お好みで設定してください

本機の、着信音量、ボタン確認音量、スピーカー音量を調整します。

着信音量を設定する

着信時のベルの音量を調整します。
お買い上げ時は、「チュウ」に設定されています。

を押す

◆ 着信音量の設定画面が表示されます。

オンリョウ
1. チャクシン　オンリョウ

で音量を選び、 を押す
着信音量は「Off ／ショウ／チュウ／ダイ」から選びます。

チャクシン　オンリョウ
チュウ

1 分間操作しないともとの画面に戻ります。

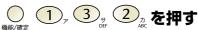
3 を押す

◆ 設定を終了します。

ファクスモード中（ファクス が点灯しているとき）は、着信音量を で調整できます。

ボタン確認音量を設定する

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とボタン確認音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙詰まりなどファクスに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。そのときの音量を調整します。
お買い上げ時は、「ショウ」に設定されています。

を押す

◆ ボタン確認音量の設定画面が表示されます。

オンリョウ
2. ボタンカクニン　オンリョウ

2 で音量を選び、 を押す
ボタン確認音量は「Off ／ショウ／チュウ／ダイ」から選びます。

ボタンカクニン　オンリョウ
ショウ

1 分間操作しないともとの画面に戻ります。

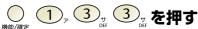
3 を押す

◆ 設定を終了します。

「Off」（ボタン確認音なし）に設定した場合でも、エラーのときはブザー音が鳴ります。

スピーカー音量を設定する

手動でファクスを送るとき、スピーカーから「ピー」という音が聞こえることがあります。そのときの音量を調整します。お買い上げ時は、「チュウ」に設定されています。

1   **を押す**

◆ スピーカー音量の設定画面が表示されます。

オンリョウ
3.スピーカー　オンリョウ

2 **で音量を選び、** **を押す**

スピーカー音量は「Off／ショウ／チュウ／ダイ」から選びます。

スピーカー　オンリョウ
チュウ

1分間操作しないともとの画面に戻ります。

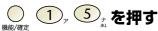
3 **を押す**

◆ 設定を終了します。

スピーカー音量は オンフック を押し、「ツー」という音が聞こえているときに で変更することもできます。

液晶ディスプレイのコントラストを設定する

液晶ディスプレイが見にくいときは、液晶ディスプレイの見やすさ（コントラスト）を設定します。お買い上げ時は、「ウスク」に設定されています。

1   **を押す**

◆ コントラストの設定画面が表示されます。

キホン　セッテイ
5.ガメンノ　コントラスト

2 **で「コク」または「ウスク」を選び、** **を押す**

3 停止/終了 **を押す**

◆ 設定を終了します。

第1章 ご使用の前に
第2章 ファクス
第3章 電話帳
第4章 転送・リモコン機能
第5章 コピー
第6章 フォトメディアキャプチャ
第7章 こんなときは
付録

ナンバー・ディスプレイサービスの設定をする

本機では、電話会社（NTT）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。
本機で利用できる機能は以下のとおりです。

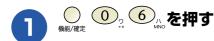
● **電話番号表示機能**
電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。

● **名前表示機能**
電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。

● **着信履歴機能**
ナンバー・ディスプレイの設定を「On」にした場合、電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。着信履歴から電話帳に登録したり、着信履歴リストを印刷することができます。

注意

■「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくには、NTT との契約が必要です。（有料）
契約していない場合は、「Off」にしてください。
■ ISDN 回線をご利用の場合は、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルーターの設定が必要です。
■ 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応している必要があります。
■ ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
■ 電話回線にガス検針器やホームセキュリティ装置などが接続されている場合は、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない場合があります。
■ ナンバー・ディスプレイは、複数台の装置に表示することはできません。外付け電話を接続して本機でナンバー・ディスプレイを使用する場合は、外付け電話のナンバー・ディスプレイの設定を「Off」にしてください。

1 を押す

◆ ナンバー・ディスプレイの設定画面が表示されます。

ショキ　セッテイ
6. ナンバー　ディスプレイ

2 で、ナンバー・ディスプレイの設定を選び、機能/確定 を押す

設定は以下から選びます。

●「On」：
本機の液晶ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

●「Off」：
ナンバー・ディスプレイ機能を使用しません。

●「ソトヅケデンワ ユウセン」：
本機と接続している電話機に相手の電話番号が表示されます。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

「ソトヅケデンワ　ユウセン」に設定した場合、着信履歴は本機に残りません。

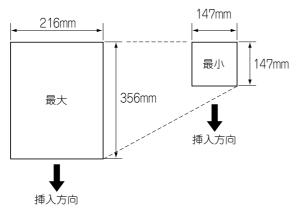
本機は、ネーム・ディスプレイサービスには対応していません。

ファクス

ファクスを送る前に

原稿セット

セットできる原稿

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

坪量：　64g/m^2 ～ 90g/m^2（ADF 使用時）
厚み：　0.08mm ～ 0.12mm（ADF 使用時）
最大質量 :2kg（原稿台ガラス使用時）

注意

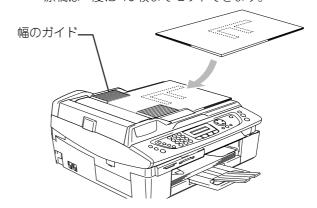
- **インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。**

原稿の読み取り範囲

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに A4 サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は下記のようになります。

原稿をセットする

■ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

複数枚の原稿を送るときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 原稿をそろえ、印刷したい面を下にして、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

原稿は一度に 10 枚までセットできます。

2 幅のガイドを原稿の幅に合わせる

■ 原稿台ガラスに原稿をセットする

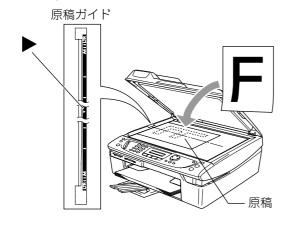
原稿台の原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの「▶」マークに原稿上端の中央を合わせ、原稿を裏向きにセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

- ■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。
- ■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

名前とファクス番号を設定する

[発信元登録]

自分の名前とファクス番号を本機に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙に印刷されます。

1 機能/確定 0 2 を押す

◆ 発信元登録の設定画面が表示されます。

```
ショキ　セッテイ
2.　ハッシンモト　トウロク
```

2 ファクス番号を入力し、機能/確定 を押す

20 桁まで入力できます。

```
ハッシンモト　トウロク
ファクス：
```

3 名前を入力し、機能/確定 を押す

⇒ 132 ページ「文字の入れかた」

```
ハッシンモト　トウロク
ナマエ：
```

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ 発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) 機能/確定 0 2 を押す

◆「ヘンコウ　1. スル　2．シナイ」と表示されます。

(2) 1 を押す

(3) ファクス番号の先頭で 停止/終了 を押す

(4) 機能/確定 を押す

(5) 停止/終了 を押す

ファクスを送る

ファクス送信

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。

ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る

[自動送信]

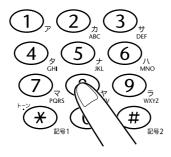
複数枚の原稿を送るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 38 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

「オンフックボタン」は押さないでください。

4 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

■ 送信する前にファクスをキャンセルする

(1) 停止/終了 を押す

◆「カイジョ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ 送信が中止されます。

■ 送信した後でファクスをキャンセルする

相手が通話中などの理由でファクスを送ることができなかったときは、5 分おきに 3 回まで「再ダイヤル」を行います。

再ダイヤルをやめたい場合は、機能/確定、2、6 を押します。（⇒ 61 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」）
再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。
送信レポートについて ⇒ 60 ページ「送信レポートを印刷する」

※ 手動送信（⇒ 44 ページ「相手先の受信音を確認してから送る」）の場合は、自動で再ダイヤルしません。自動送信をする場合は、オンフック を押さずにダイヤルします。

原稿台ガラスからファクスを送る（1枚のとき）

[自動送信]

1枚のファクスを送ります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 39ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

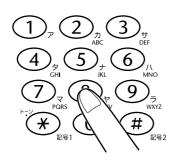
注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

オンフック は押さないでください。

再ダイヤル/ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ モノクロスタート を押した場合は、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、以下の画面が表示されます。

ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1.ハイ　2.イイエ（ソウシン）

◆ カラースタート を押した場合は、原稿の送信が開始されます。

5 2 または モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ ファクスが送られます。

■ 送信する前にファクスをキャンセルする

(1) 停止/終了 を押す

◆「カイジョ　1．スル　2．シナイ」と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ 送信が中止されます。

■ 送信した後でファクスをキャンセルする

相手が通話中などの理由でファクスを送ることができなかったときは、5分おきに3回まで「再ダイヤル」を行います。

再ダイヤルをやめたい場合は、機能/確定 2 6 を押します。（⇒ 61ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」）
再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。
送信レポートについて ⇒60ページ「送信レポートを印刷する」
※ 手動送信（⇒ 44 ページ「相手先の受信音を確認してから送る」）の場合は、自動で再ダイヤルしません。自動送信をする場合は、オンフック を押さずにダイヤルします。

注意

■ 相手先のファクシミリがモノクロの場合は、カラーで送ってもモノクロで受信されます。
■ カラーでファクスを送ると、常に原稿の内容がメモリーに読み取られずに送信（リアルタイム送信）されます。
■ モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
■ ファクスをカラーで送ると、送信に時間がかかることがあります。
■ ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス）をすることができません。

原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき）

［自動送信］

注意

■ リアルタイム送信を On にしている場合は、原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ることができません。原稿台ガラスから複数枚のファクスを送る場合は、リアルタイム送信を Off にしてください。⇒ 49 ページ「原稿をすぐに送る」
■ 原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ると、モノクロで送信されます。カラーで送信する場合は、ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送ってください。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

1）1 枚目の原稿を送る

2 原稿をセットする

⇒ 39 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

オンフック は押さないでください。

再ダイヤル/ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロスタート を押す

◆ 1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、以下の画面が表示されます。

ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1. ハイ　2. イイエ（ソウシン）

5 1ア を押す

◆ 以下の画面が表示されます。

ツギノゲンコウヲ　セットシテ
カクテイヲ　オシテクダサイ

2）2 枚目の原稿を送る

6 原稿台ガラスに 2 枚目の原稿をセットして、機能/確定 を押す

◆ 2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、以下の画面が表示されます。

ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1. ハイ　2. イイエ（ソウシン）

- 3 枚目の原稿がある場合　⇒手順 7 へ
- これで送信する場合　⇒手順 8 へ

3）3 枚目の原稿を送る

7 1ア を押し、3 枚目の原稿をセットして、機能/確定 を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順をくり返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、2カABC または モノクロスタート を押す

◆ ファクスが送られます。

■ 送信中・印刷中に次のファクスを読み取る（デュアルアクセス）

ファクス送信中や印刷中でも、次に送りたい原稿の読み取りができます。これを「デュアルアクセス」といいます。液晶ディスプレイには、新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。
※ カラーでファクスを送る場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

電話帳・短縮ダイヤルを使う

[自動送信]

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、かんたんな操作でダイヤルすることができます。

■ 短縮ダイヤルを使う

短縮ダイヤルに登録しているファクス番号へダイヤルします。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 (電話帳 / 短縮)を押す

4 を押したあと、登録した 2 桁の短縮番号を押す

短縮ダイヤルの登録方法

⇒ 64 ページ「短縮ダイヤルを登録する」

5 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 短縮ダイヤルに登録されているファクス番号へダイヤルされます。

■ 電話帳を使用する

短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録した名前を検索してダイヤルします。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 (電話帳 / 短縮)を押す

4 登録した名前を検索する

A)アイウエオ順に検索するとき

を押すと、「カナ(五十音順)→アルファベット→数字→記号→名前を登録していないファクス番号」の順に表示されます。

行を指定して検索するときは、検索したい行が表記されているダイヤルボタンを押します。
例)「シミズ」を検索する場合は、3 を押します。
「サ行」の先頭が表示されるので、を押して相手先を検索します。

B)短縮番号順に検索するとき

を押すと短縮番号順に表示されます。

ダイヤルボタンを使って、該当する短縮番号の近くを表示させることができます。
例)53 番の短縮番号に登録した相手を検索する場合は、 を押して、を数回押すと表示されます。

5 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 検索した相手先のファクス番号へダイヤルされます。

相手先の受信音を確認してから送る

[手動送信]

相手先の受信音を確認してから、ファクスを送ります。

注意

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると一度に複数枚のファクスを送ることができません。（1回に送ることができるのは1枚のみです。）複数枚のファクスを送る場合は、ADF（原稿自動送り装置）に原稿をセットしてください。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒38ページ「原稿をセットする」

3 オンフック を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手先の受信音（ピー）を確認して、

モノクロで送るときは モノクロスタート を、

カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、ファクスの送受信を確認する画面が表示されます。

1. ソウシン　2. ジュシン

5 1ァ を押す

◆ 原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

■ 送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆「テイシガ　オサレマシタ」と表示され、送信が中止されます。

一時的に画質を変えて送る

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質を変更してファクスを送ります。ここで変更した画質モードは、ファクスの送信が終わると元に戻ります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒38ページ「原稿をセットする」

3 ファクス画質 を繰り返し押して、画質を選び、機能/確定 を押す

画質は以下の設定から選びます。

- 「ヒョウジュン」:
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 「ファイン」:
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 「スーパーファイン」:
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 「シャシン」:
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

◆ 一時的に画質が変更されます。

4 相手のファクス番号をダイヤルして、

モノクロで送るときは モノクロスタート を、

カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 画質を変更して、ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、シャシンモードで送ると、ヒョウジュンに比べて送信時間がかかります。
- シャシンモードで送っても、相手のファクシミリがヒョウジュンモードで受け取ると、画質が劣化します。
- 「シャシン」を選択すると、原稿濃度は「ジドウ」で送信されます。
- カラーファクスを送信する場合は、「スーパーファイン」や「シャシン」を選択しても「ファイン」で送信されます。

画質の設定をする

お買い上げ時の画質の設定（「ヒョウジュン」（モノクロ））を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 機能/確定 2カABC 2カABC 2カABC を押す

◆ 画質の設定画面が表示されます。

```
ソウシン　セッテイ
2. ファクス　ガシツ
```

3 で、画質を選び、機能/確定 を押す

画質は以下の設定から選びます。

- 「ヒョウジュン」:
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 「ファイン」:
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 「スーパーファイン」:
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 「シャシン」:
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

◆ 画質の設定が変更されます。

一時的に原稿に合わせた濃度に変えて送る

原稿に合わせた濃度に変更してファクスを送ります。原稿濃度の設定は、ファクスの送信が終わると「ジドウ」に戻ります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 機能/確定 2カABC 2カABC 1ア を押す

◆ 原稿濃度の設定画面が表示されます。

```
ソウシン　セッテイ
1. ゲンコウ　ノウド
```

4 で、濃度を選び、機能/確定 を押す

濃度は「ジドウ」「ウスク」「コク」から選びます。

- 「ジドウ」:
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 「ウスク」:
  原稿が濃いときに選びます。
- 「コク」:
  原稿が薄いときに選びます。

◆ 原稿濃度が変更され、「ホカノセッテイ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

5 画質の変更など他の設定を行う場合は 1ア を、行わない場合は 2カABC を押す

1ア を押した場合は、画質などの設定を行い、終わったら手順 6 へ進みます。
⇒ 44 ページ「一時的に画質を変えて送る」
2カABC を押した場合は、手順 6 へ進みます。

相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート **を押す**

◆ 原稿濃度を変更して、ファクスが送られます。

原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。

ファクスの便利な送りかた

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。

注意

- ■ タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ■ タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 機能/確定 2カABC 2カABC 3サDEF を押す

◆ タイマー送信の設定画面が表示されたあと、送信時刻を入力する画面が表示されます。

ソウシン　セッテイ
3. タイマー　ソウシン

4 送信時刻を入力し、機能/確定 を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。
例）午後 3 時 5 分の場合は、「15:05」と入力します。

◆「ホカノセッテイ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

5 画質の変更など他の設定を行う場合は 1ア を、行わない場合は 2カABC を押す

1ア を押した場合は、引き続き画質や原稿濃度などの設定を行い、終わったら手順 6 へ進みます。

⇒ 44 ページ「一時的に画質を変えて送る」

⇒ 45 ページ「一時的に原稿に合わせた濃度に変えて送る」

2カABC を押した場合は、手順 6 へ進みます。

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、次の画面が表示されます。

ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1. ハイ　2. イイエ（ソウシン）

- 送る原稿が 1 枚の場合　⇒手順 9 へ
- 送る原稿が複数枚の場合　⇒手順 7へ

7 1ア を押す

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして 機能/確定 を押す

送りたい原稿について、手順 7、8 を繰り返します。

9 2カABC または モノクロスタート を押す

◆ 設定を終了します。

◆ 読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。

タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

注意

- ■ とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ■ とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 機能/確定 2カABC 2カABC 4タGHI を押す

◆ 取りまとめ送信の設定画面が表示されます。

ソウシン　セッテイ
4. トリマトメ　ソウシン

3 で「On」を選び、機能/確定 を押す

設定は、「On ／ Off」から選びます。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

原稿をすぐに送る

[リアルタイム送信]

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は「Off」に設定されています。

注意

- ■ 原稿台ガラスからファクスを送信する場合、原稿は 1 枚しか送信できません。
- ■ リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ■ ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても、常にリアルタイム送信になります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 機能/確定 2 2 5 を押す

◆ リアルタイム送信の設定画面が表示されます。

```
ソウシン　セッテイ
5. リアルタイム　ソウシン
```

4 (カーソルキー)で設定を選ぶ

設定は「On ／ Off ／コンカイノミ」から選びます。
- ●「On」：
  リアルタイム送信で送ります。
- ●「Off」：
  通常の送信で送ります。
- ●「コンカイノミ」：
  今回のみの設定（On ／ Off）を選びます。

- 「On ／ Off」を選んだ場合　⇒手順 6 へ
- 「コンカイノミ」を選んだ場合　⇒手順 5 へ

5 今回の送信設定を選ぶ

設定は「（コンカイノミ）On ／ Off」から選びます。
- ●「（コンカイノミ）On 」：
  今回のみ、リアルタイム送信で送ります。
- ●「（コンカイノミ）Off 」：
  今回のみ、リアルタイム送信を解除して送ります。

◆「ホカノセッテイ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

6 引き続き、他の設定を行う場合は 1 を、行わない場合は 2 を押す

1 を押した場合は、引き続き画質や原稿濃度などの設定を行い、終わったら手順 7 へ進みます。
⇒ 44 ページ「一時的に画質を変えて送る」
⇒ 45 ページ「一時的に原稿に合わせた濃度に変えて送る」
2 を押した場合は、手順 7 へ進みます。

7 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 原稿が送られます。

本機は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

第 1 章 ご使用の前に
第 2 章 ファクス
第 3 章 電話帳
第 4 章 転送・リモコン機能
第 5 章 コピー
第 6 章 フォトメディアキャプチャ
第 7 章 こんなときは
付 録

相手の操作で原稿を送る

［ポーリング送信］

相手側のファクシミリからの操作で、本機にセットした原稿を自動的に送ります。（これを「ポーリング送信」といいます。）掲示板として情報をメモリーしておくと、他のポーリング機能のあるファクシミリからその情報を自由に受け取ることができます。

注意

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 ファクスが緑色に点灯していない場合は、ファクスを押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒38 ページ「原稿をセットする」

3 機能/確定 2 2 6 を押す

◆ ポーリング送信の設定画面が表示されます。

```
ソウシン　セッテイ
6.ポーリング　ソウシン
```

4 で「ヒョウジュン」を選び、機能/確定 を押す

◆「ホカノセッテイ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

5 引き続き、他の設定を行う場合は 1 を、行わない場合は 2 を押す

1 を押した場合は、引き続き画質や原稿濃度などの設定を行い、終わったら手順 6 へ進みます。

⇒44 ページ「一時的に画質を変えて送る」
⇒ 45 ページ「一時的に原稿に合わせた濃度に変えて送る」

2 を押した場合は、手順 6 へ進みます。

6 モノクロスタート を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、次の画面が表示されます。

```
ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1.ハイ　2.イイエ（ソウシン）
```

- 送る原稿が 1 枚の場合　⇒手順 9 へ
- 送る原稿が複数枚の場合　⇒手順 7 へ

7 1 を押す

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして 機能/確定 を押す

送りたい原稿について、手順 7、8 を繰り返します。

9 2 または モノクロスタート を押す

◆ 原稿を読み取り、メモリーに記憶します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除したいときは、機能/確定 2 6 を押して解除します。

⇒61 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

■ パスワードを設定して送信する場合（機密ポーリング送信）

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うことができます。

> 相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング送信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 機能/確定 2 2 6 を押す

◆ ポーリング送信の設定画面が表示されます。

4 で、「キミツ」を選び、機能/確定 を押す

5 4 桁のパスワードを入力して、機能/確定 を押す

◆「ホカノセッテイ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

6 引き続き、他の設定を行う場合は 1 を、行わない場合は 2 を押す

1 を押した場合は、引き続き画質や原稿濃度などの設定を行い、終わったら手順 7 へ進みます。

⇒ 44 ページ「一時的に画質を変えて送る」

⇒ 45 ページ「一時的に原稿に合わせた濃度に変えて送る」

2 を押した場合は、手順 7 へ進みます。

7 モノクロスタート を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、次の画面が表示されます。

ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1. ハイ　2. イイエ (ソウシン)

- 送る原稿が 1 枚の場合　⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合　⇒手順 8 へ

8 1 を押す

9 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、機能/確定 を押す

送りたい原稿について、手順 8、9 を繰り返します。

10 2 または モノクロスタート を押す

◆ 原稿を読み取り、メモリーに記憶します。

> ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。
>
> ポーリング送信を解除したいときは、機能/確定 2 6 を押して解除します。
> ⇒ 61 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

第 1 章 ご使用の前に
第 2 章 ファクス
第 3 章 電話帳
第 4 章 転送・リモコン機能
第 5 章 コピー
第 6 章 フォトメディアキャプチャ
第 7 章 こんなときは
付 録

海外へ送る

［海外送信］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を「On」に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了するとに自動的に「Off」に戻ります。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒38 ページ「原稿をセットする」

3 機能/確定 2 2 7 を押す

◆ 海外送信の設定画面が表示されます。

```
ソウシン　セッテイ
7.カイガイソウシン　モード
```

4 で「On」を選び、機能/確定 を押す

◆「ホカノセッテイ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

5 引き続き、他の設定を行う場合は 1 を、行わない場合は 2 を押す

1 を押した場合は、引き続き画質や原稿濃度などの設定を行い、終わったら手順6へ進みます。

⇒44 ページ「一時的に画質を変えて送る」
⇒ 45 ページ「一時的に原稿に合わせた濃度に変えて送る」

2 を押した場合は、手順6へ進みます。

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、ファクスの送受信を確認する画面が表示されます。

```
ツギノ　ゲンコウアリマスカ？
1.ハイ　2.イイエ（ソウシン）
```

- 送る原稿が 1 枚の場合　⇒手順 9 へ
- 送る原稿が複数枚の場合　⇒手順 7 へ

7 1 を押す

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして 機能/確定 を押す

送りたい原稿について、手順7、8を繰り返します。

9 2 または モノクロスタート を押す

◆ ファクスが送られます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

[同報送信]

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳から、合わせて最大 130 箇所まで指定できます。

注意

■ 同報送信のときは、モノクロで送信されます。(カラーでの送信はできません。)

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 38 ページ「原稿をセットする」

3 相手先のファクス番号をダイヤルして、機能/確定 を押す

電話帳に登録されている短縮ダイヤルやグループダイヤルから相手先を選んだ場合は 機能/確定 を 2 回押します。

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ 66 ページ「グループダイヤルを登録する」

4 手順 3 と同様に 2 件目以降の相手先を選ぶ

5 すべての相手先を選び終わったら モノクロスタート を押す

◆ ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、ファクスの送受信を確認する画面が表示されます。

ツギノ　ゲンコウアリマスカ?
1. ハイ　2. イイエ (ソウシン)

- 送る原稿が 1 枚の場合　⇒手順 8 へ
- 送る原稿が複数枚の場合　⇒手順 6 へ

6 1ア を押す

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして 機能/確定 を押す

送りたい原稿について、手順 6、7 を繰り返します。

8 2カABC または モノクロスタート を押す

◆ 原稿を読み取り、指定した相手先にファクスが送られます。

◆ すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

■ 送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆「カイジョ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

(2) 1ア を押す

◆ 送信が中止されます。

相手先を重複して指定したときは、自動的に重複した相手先を削除します。

送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。

原稿読み込み中に「メモリーガ　イッパイデス」と表示されたら、停止/終了 を押して送信を中止するか、モノクロスタート を押して読み込まれた分だけ送ります。

第 1 章 ご使用の前に
第 2 章 ファクス
第 3 章 電話帳
第 4 章 転送・リモコン機能
第 5 章 コピー
第 6 章 フォトメディアキャプチャ
第 7 章 こんなときは
付録

ファクスを受ける

ファクス受信

本機では、以下の方法でファクスを受けることができます。

電話に出てから受ける

[手動受信]

本機と接続している電話機の受話器を取ったあとに、ファクスを受信するときの手順です。

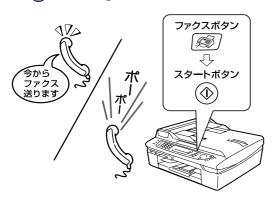
1 着信音が鳴ったら、本機と接続している電話機の受話器を取って電話を受ける

2 「ポー、ポー」と音がしていたら、 ファクス **を押してファクスモードにしてから、** モノクロスタート **または** カラースタート **を押す**

相手と通話したあとにファクスを受信したいときは、相手にファクスに切り替えることを伝えて、モノクロスタート または カラースタート を押します。

◆ **ファクスの送受信を確認する画面が表示されます。**

1. ソウシン 2. ジュシン

3 **を押す**

◆ **ファクスを受信します。**

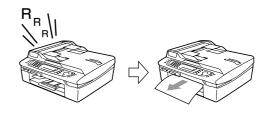
4 本機と接続している電話機の受話器を戻す

本機と接続している電話機の受話器を取らなかった場合は、設定している受信モードに従った動作をします。

本機と接続している電話機の親切受信を「On」に設定している場合は、受話器を取って約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。
親切受信について ⇒ 55 ページ「電話に出ると自動的に受ける」

自動的に受ける

[自動受信]

設定した回数の着信音が鳴り終ると、本機が自動的に受信します。

注意

■ **受信モードが「TEL= デンワ」の場合は、自動的に受信しません。**
受信モードについて ⇒ 30 ページ「受信モードを選ぶ」

■ 記録紙がなくなったときは

以下の場合、本機は送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。（メモリー代行受信）

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙がつまったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

液晶ディスプレイの指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

注意

■ **メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。**

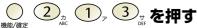
■ **電源を抜いたときや停電のときは、メモリーに記憶された受信ファクスメッセージは消去されます。**

ファクスの便利な受けかた

電話に出ると自動的に受ける

[親切受信]

本機と接続している電話機の受話器を取ったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

を押す

◆ **親切受信の設定画面が表示されます。**

ジュシン　セッテイ
3. シンセツ　ジュシン

2 **で「On」を選び、** **を押す**

設定は「On ／ Off」から選びます。

● 「On」：
　親切受信をする

● 「Off」：
　親切受信をしない

停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

注意

■ **通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を「Off」にしてください。**

- ファクスの受信が終わったら受話器を置いてください。
- 親切受信は、本機と接続している電話機の受話器を取ってから 40 秒有効です。40 秒以上経過してからファクス信号が送られてきても、親切受信しません。
- 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、モノクロスタート または カラースタート を押して手動でファクスを受信してください。

■ 親切受信を設定した場合のファクスの受け方

(1) 着信音が鳴ったら、本機と接続している電話機の受話器を取る

◆ **「ポー、ポー」と音が聞こえます。**

(2) そのまま 7 秒待つ

◆ 7 秒後に、自動的にファクスが受信されます。

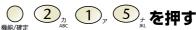
(3) 液晶ディスプレイに「ジュシンチュウ」と表示されたら、受話器を戻す

※ 受話器を取らなかった場合は、設定している受信モードに従った動作をします。受信モードによって動作は異なります。⇒ 30 ページ「受信モードを選ぶ」

自動的に縮小して受ける

[自動縮小受信]

A4 の長さを超える原稿が送信された場合、自動的に A4 サイズの記録紙に収まるように縮小して印刷します。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

を押す

◆ **自動縮小受信の設定画面が表示されます。**

ジュシン　セッテイ
5. ジドウ　シュクショウ

2 **で「On」を選び、** 機能/確定 **を押す**

設定は「On ／ Off」から選びます。

● 「On」：
　自動縮小受信をする

● 「Off」：
　自動縮小受信をしない

3 停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

- 原稿の長さが約 420mm 以内のときは、長さに応じて自動縮小して印刷されます。
- 原稿の長さが約 420mm 以上のときは、自動縮小されず複数枚の記録紙に分割して印刷されます。
- A3 や B4 の原稿が送信された場合は、送信側で縮小して送信されます。このため、自動縮小受信を「Off」にしても縮小して印刷されます。

本機と接続している電話機からの操作でファクスを受信する

[リモート受信]

親切受信の設定が「Off」の場合や、親切受信がうまくはたらかない場合は、本機と接続している電話機から本機を操作してファクスを受信できます。これを「リモート受信」といいます。

■ リモート受信を設定する

リモート受信を使用するときは、リモート受信設定を「On」にします。(お買い上げ時は「Off」に設定されています。)また、リモート起動番号を変更することもできます。

1   **を押す**

◆ リモート受信の設定画面が表示されます。

ジュシン　セッテイ
4. リモート　ジュシン

2 **で「On」を選び、** **を押す**

◆ リモート起動番号が表示されます。

リモート　ジュシン
キドウバンゴウ：　＃51

リモート起動番号を変更するときは、ダイヤルボタンで上書きします。

リモート　ジュシン
キドウバンゴウ：　123

※ 123 は任意の 3 桁の数字です。

3 **を押す**

4   **を押す**

◆ 設定を終了します。

■ リモート受信の操作のしかた

1 本機と接続している電話機の受話器を取る

2 本機と接続している電話機の受話器を持ったまま、# 5 1 を押す

「#51」は、リモート起動番号です。

3 約 5 秒後に、受話器を戻す

◆ ファクス受信が始まります。

注意

■ ダイヤル回線(20PPS、10PPS)に設定されている環境でリモート受信を行うときは、電話機のトーンボタンを押して、トーン(プッシュ)信号に切り替えてから、リモート起動番号を入力してください。

- リモート起動番号とは、本機の外付け電話端子に接続されている電話機から、本機をリモート受信させるときに使用する番号です。お買い上げ時は「#51」に設定されています。
- この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により、使用できないことがあります。

本機の操作で相手の原稿を受ける

[ポーリング受信]

本機から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。（これを「ポーリング受信」といいます。）
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。

注意

- ■ ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- ■ 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

1 機能/確定 2 1 6 を押す

◆ ポーリング受信の設定画面が表示されます。

ジュシン　セッテイ
6. ポーリング　ジュシン

2 で「ヒョウジュン」を選び、機能/確定 を押す

◆「ダイヤル シテクダサイ／スタートボタンヲオス」と表示されます。

3 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ ファクスを受信します。

本機では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式（音声が聞こえるもの）とポーリング方式（ピーと音がするもの）があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に # を入力してください。

複数の相手先から原稿を受信する場合は、相手先のファクス番号をダイヤルして 機能/確定 を押す操作を繰り返します。すべての相手先のファクス番号をダイヤルしたら、モノクロスタート または カラースタート を押します。

■ パスワードが設定されている場合（機密ポーリング受信）

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング受信」を行います。

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング受信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。

1 機能/確定 2 1 6 を押す

◆ ポーリング受信の設定画面が表示されます。

2 で、「キミツ」を選び、機能/確定 を押す

3 4 桁のパスワードを入力して、機能/確定 を押す

4 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ ファクスを受信します。

第１章 ご使用の前に
第２章 ファクス
第３章 電話帳
第４章 転送・リモコン機能
第５章 コピー
第６章 フォトメディアキャプチャ
第７章 こんなときは
付録

■ 時刻を指定して受信する場合（タイマーポーリング受信）

ポーリング受信する時刻を設定できます。

1 **を押す**

◆ **ポーリング受信の設定画面が表示されます。**

2 **で、「タイマー」を選び、** 機能/確定 **を押す**

3 **受信時刻を入力し、** 機能/確定 **を押す**

時刻は 24 時間制で入力します。
例）午後 3 時 5 分の場合は、「15:05」

4 **相手先のファクス番号をダイヤルし、**

モノクロスタート **または** カラースタート **を押す**

◆ **指定時刻になると、ファクスを受信します。**

> タイマーポーリング受信を解除したいときは、
> 機能/確定 2(カ ABC) 6(ハ MNO) を押して解除します。
> ⇒ 61 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

通信状態を確かめる

通信管理

本機では、ファクスの送受信についてのレポートを印刷したり、液晶ディスプレイで送信待ちファクスを確認したりできます。

通信管理レポートを印刷する

［ 通信管理レポート ］

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

■ すぐに印刷するとき

1 レポート を押す

2 で「ツウシン　カンリ　レポート」を選び、機能/確定 を押す

◆ 通信管理レポートの印刷画面が表示されます。

ツウシン　カンリ　レポート
スタートボタンヲ　オス

3 記録紙トレイに記録紙をセットし モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 通信管理レポートが印刷されます。

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ　: 2002/01/28 06:27
SER.# : BRO1A0000006

NO.	ﾋｽﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｹｯｶ	ｺﾒﾝﾄ
#002	01/28	06:25	123	32	01	OK	TX

POL : ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
PC : PC-FAX
TX : ｿｳｼﾝ
RX : ｼﾞｭｼﾝ

■ 定期的に印刷するとき

1 機能/確定 2 4 2 を押す

◆ 通信管理レポートの設定画面が表示されます。

レポート　セッテイ
2. ツウシン　カンリ　カンカク

2 で印刷間隔を選び、機能/確定 を押す

印刷間隔は、「レポートシュツリョクシナイ／7 カゴト／ 2 カゴト／ 24 ジカンゴト／ 12 ジカンゴト／ 6 ジカンゴト／ 50 ケンゴト」から選びます。

- 「7 カゴト」を選んだ場合 ⇒手順 3 へ
- 「2カゴト／24ジカンゴト／ 12ジカンゴト／6ジカンゴト」を選んだ場合 ⇒手順 4 へ
- 「レポートシュツリョクシナイ／ 50 ケンゴト」を選んだ場合 ⇒手順 5 へ

3 で曜日を選び、機能/確定 を押す

4 印刷時間を入力し、機能/確定 を押す

印刷する時間を 24 時間制で入力します。

5 停止/終了 を押す

◆ 通信管理レポートが設定されます。

定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

送信レポートを印刷する

［送信レポート］

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの１ページ目が印刷されるように設定されています。

■ すぐに印刷するとき

1 レポート を押す

2 で「ソウシン　レポート」を選び、機能/確定 を押す

◆ 送信レポートの印刷画面が表示されます。

ソウシン　レポート
スタートボタンヲ　オス

3 記録紙トレイに記録紙をセットし
モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 送信レポートが印刷されます。

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ　: 2002/01/28 06:26
SER.# : BRO1A0000006

ﾆﾁｼﾞ	01/28　06:25
ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	123
ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	00:00:32
ﾍﾟｰｼﾞ	01
ｹｯｶ	OK
ｶﾞｼﾂ	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

■ 印刷するタイミングと内容を設定する

1 機能/確定、2、4、1 を押す

◆ 送信レポートの設定画面が表示されます。

レポート　セッテイ
1.ソウシン　レポート

2 で設定を選び、機能/確定 を押す

設定は「On ／ On ＋イメージ／ Off ／ Off ＋イメージ」から選びます。

- 「On」：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 「On ＋イメージ」：
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと１ページ目の画像を印刷します。
- 「Off」：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 「Off ＋イメージ」：
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの１ページ目を印刷します。

リアルタイム送信の場合は、画像は印刷されません。
リアルタイム送信について ⇒ 49 ページ「原稿をすぐに送る」

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

送信待ちファクスを確認・解除する

タイマー送信など、設定している内容を確認し、解除できます。

1

機能/確定、2、6 を押す

◆ 送信待ちのファクスを確認する画面が表示されます。

ファクス
6. ツウシン　マチ　カクニン

待機中のファクスがないときは「セッテイガ　サレテイマセン」と表示されます。

2 で確認または解除する設定を選び、機能/確定 を押す

◆「カイジョ　1.　スル　2.　シナイ」と表示されます。

3 解除する場合は、1 を押す

◆ 送信待ちのファクスが解除されます。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

第3章

電話帳

電話帳

リモートセットアップ

電話帳を作成する

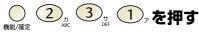
電話帳

よくファクスを送る相手先のファクス番号を、電話帳に登録します。また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

「リモートセットアップ」を使用して、パソコン（Windows®、Mac OS X 10.2.4 以降のみ）から簡単に電話帳を作ることもできます。⇒68 ページ「パソコンで電話帳を作る」

短縮ダイヤルを登録する

相手先のファクス番号と名称を、2 桁の短縮番号 01 ～ 80（最大 80 件）に登録します。

1 **機能/確定 2 3 1 を押す**

◆ **短縮ダイヤル登録画面が表示されます。**

デンワチョウ　トウロク
1．デンワチョウ／タンシュク

2 **登録する短縮番号（2 桁）を入力し、機能/確定 を押す**

例）03 番に登録するときは 0 3 を押します。

デンワチョウ／タンシュク
タンシュク　ダイヤル？　＊■

入力した短縮番号にすでにファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号または名前が表示されます。登録済みの内容を変更する場合は 1 を、登録をやめる場合は 2 を押します。

3 **登録する相手先のファクス番号を入力し、機能/確定 を押す**

ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下の通りです。

- 数字（0 ～ 9）
- 記号（＊、＃）
- スペース
  - を押す
- ポーズ（－）
  - 再ダイヤル/ポーズ を押す

4 **相手先の名前を入力し、機能/確定 を押す**

名前は 16 文字まで入力できます。
⇒ 132 ページ「文字の入れかた」

続けて登録する場合は、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

5 **停止/終了 を押す**

◆ **短縮ダイヤルが登録されます。**

途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷すると確認できます。⇒ 67 ページ「電話帳リストを印刷する」

注意

■ **ファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをおすすめします。**
⇒ 67 ページ「電話帳リストを印刷する」

■ 短縮ダイヤルからダイヤルする

(1) **（電話帳 / 短縮）を押す**

(2) **トーン/記号1 を押したあと、登録した 2 桁の短縮番号を押す**

◆ 短縮ダイヤルに登録されているファクス番号へダイヤルされます。

■ 短縮ダイヤルを変更する

(1) **「短縮ダイヤルを登録する」の手順 2 で、変更する短縮番号を指定し、機能/確定 を押す**

◆ 液晶ディスプレイに「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

(2) **1 を押し、「短縮ダイヤルを登録する」の手順 3 以降の操作で登録し直す**

■ 短縮ダイヤルを削除する

(1)「短縮ダイヤルを登録する」の手順 2 で、削除する短縮番号を指定し、機能/確定 を押す

◆ 液晶ディスプレイに「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

(2) 1ァ を押す

◆ 液晶ディスプレイに登録しているファクス番号が表示されます。

(3) 停止/終了 を押す

◆ ファクス番号がクリアされます。

(4) 機能/確定 を押す

◆ 選んだ短縮ダイヤルが削除されます。

着信履歴から電話帳に登録する

[着信履歴]

着信履歴から、電話番号を電話帳に登録します。

注意

■「ナンバー･ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。(「チャクシンガアリマセン」と表示されます。

■ 電話帳に同じ番号や同じ名前がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 機能/確定 2カABC 7マPQRS を押す

◆ 最新の着信履歴が表示されます。

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 で電話帳に登録する電話番号を選び、機能/確定 を押す

◆ 電話帳登録画面が表示されます。

```
30) 12/31 15:40
ナマエ：
```

登録可能な件数を超えた場合は、エラー音が鳴り、「トウロクガイッパイデス」と表示されます。

3 登録したい相手先の名前を入力し、機能/確定 を押す

⇒ 132 ページ「文字の入れかた」

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

グループダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、１つのグループとしてまとめて短縮ダイヤルに登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルを登録すると、１度の操作で複数の相手先にファクスを送信できるので、毎回同じ相手先にファクスを送る場合に便利です。グループは、最大６つまで登録でき、１つのグループに最大 79 箇所の相手先を登録できます。

注意

- **グループダイヤルを登録する前に、電話帳や短縮ダイヤルにファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。**
- **グループダイヤルとして使用されている短縮番号を、別のグループダイヤルに登録することはできません。**

1 (機能/確定) (2) (3) (2) を押す

◆ グループダイヤル登録画面が表示されます。

```
デンワチョウ　トウロク
2. デンワチョウ／グループ
```

2 グループダイヤルとして使用する短縮番号（2 桁）を入力し、(機能/確定) を押す

例）03 番に登録するときは (0) (3) を押します。

◆ 以下の画面が表示されます。

```
デンワチョウ／グループ
タンシュク　ダイヤル？＊03
```

入力した短縮番号にすでにファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号と名前が表示されます。登録済みの内容を変更する場合は (1) を、登録をやめる場合は (2) を押します。

3 任意のグループ番号を入力し、(機能/確定) を押す

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）03 番に登録するときは (3) を押します。

◆ 以下の画面が表示されます。

```
デンワチョウ／グループ
グループ　ダイヤル：G03
```

入力したグループ番号がすでに使われている場合は「ヤリナオシテクダサイ」と表示されます。他のグループ番号を入力してください。

4 (電話帳 / 短縮) を押し、ダイヤルボタンからグループに登録する相手先の短縮番号を押す

登録する相手の数だけ繰り返します。

例）短縮ダイヤル *05、*09 を登録するときは、(電話帳 / 短縮)、(0) (5) を押し、続けて (電話帳 / 短縮)、は (0) (9) を押します。

◆ 以下の画面が表示されます。

```
デンワチョウ／グループ
G03: ＊05 ＊09
```

注意

- **この時点では (機能/確定) は押さないでください。**

5 登録する短縮番号をすべて入力したら、(機能/確定) を押す

6 グループの名前を入力し、(機能/確定) を押す

名前は 16 文字まで入力できます。

⇒ 132 ページ「文字の入れかた」

7 (停止/終了) を押す

◆ グループダイヤルが登録されます。

- 途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。
- 短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷すると確認できます。⇒ 67 ページ「電話帳リストを印刷する」

注意

■ 間違った短縮番号を登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくグループを登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをおすすめします。
⇒ 67 ページ「電話帳リストを印刷する」

■ グループダイヤルを変更する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 2 で、変更するグループの短縮番号を入力し、機能/確定 を押す

◆ 液晶ディスプレイに「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

(2) 1 を押し、「グループダイヤルを登録する」の手順 3 以降の操作を登録し直す

※ 変更しない項目がある場合は、機能/確定 を押すと次の手順へ進むことができます。

■ グループダイヤルを削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 2 で、削除する短縮番号を指定し、機能/確定 を押す

◆ 液晶ディスプレイに「ヘンコウ　1. スル　2. シナイ」と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ 液晶ディスプレイに登録している短縮番号が表示されます。

(3) 停止/終了 を 2 回押す

◆ 短縮ダイヤルがクリアされます。

(4) 機能/確定 を押す

◆ 選んだグループダイヤルが削除されます。

電話帳リストを印刷する

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

1 レポート を押す

2 ▲▼で「デンワチョウ リスト」を選び、機能/確定 を押す

◆ 電話帳リストの印刷画面が表示されます。

デンワチョウ　リスト
スタートボタンヲ　オス

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 電話帳リストが印刷されます。

着信履歴を印刷する

着信履歴を印刷します。

注意

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、着信履歴は使えません。

1 レポート を押す

2 ▲▼で「チャクシンリレキ　リスト」を選び、機能/確定 を押す

◆ 着信履歴の印刷画面が表示されます。

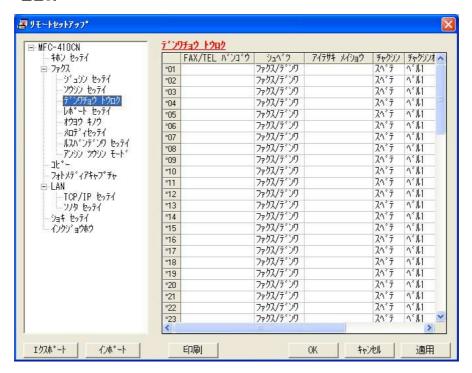
チャクシンリレキ　リスト
スタートボタンヲ　オス

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 着信履歴が印刷されます。

パソコンで電話帳を作る　リモートセットアップ

本機と接続しているパソコン上で、電話帳の登録・編集を行うことができます。これを「リモートセットアップ」といいます。
リモートセットアップを使って、パソコンから電話帳を登録する手順については、HTML マニュアルをご覧ください。⇒HTML マニュアル「パソコン活用」－「リモートセットアップ」

〈画面例〉

注意

■「リモートセットアップ」は、Windows®、Mac OS X 10.2.4 以降でのみ使用できます。

第４章

転送・リモコン機能

リモコン機能

転送機能

外出先から本機を操作する　リモコン機能

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本機を操作できます。

暗証番号を設定する

外出先から本機を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3桁の数字と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

を押す

◆ 暗証番号の設定画面が表示されます。

オウヨウ　キノウ
2. アンショウ　バンゴウ

2 暗証番号を入力し、機能/確定 を押す

「＊」の左側の3桁に、0 〜 9、＊、# からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた4桁の番号になります。）

例）暗証番号「123」の場合は、1、2、3 を押し、機能/確定 を押します。

暗証番号の4桁目の「＊」は変更できません。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ 暗証番号を削除するときは

(1) 機能/確定、2、5、2 を押す

(2) 停止/終了 を押す

(3) 機能/確定 を押す

◆ 暗証番号が削除されます。

外出先から本機を操作する

[リモコンアクセス]

外出先から、以下の手順で本機を操作します。

注意

- リモコンアクセスをするには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。⇒ 70 ページ「暗証番号を設定する」
- トーン信号を送出できないファクシミリからのリモコンアクセスはできません。

1 外出先のファクシミリから、本機にダイヤルする

プッシュ回線に接続されているファクシミリ、またはトーン信号が送出できるファクシミリからダイヤルします。

2 本機が応答し、無音状態になったら、「暗証番号（3 桁の数字と * ）を押す

⇒ 72 ページ「暗証番号を入力するタイミング」

◆ **暗証番号を受け付けると、ファクスメッセージの有無を音でお知らせします。**
- ・「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージが記憶されています。
- ・ファクスメッセージがメモリーに記憶されていない場合は、音がしません。

3 短い「ピピッ」という音が聞こえたら、リモコンコードを入力する

実行する操作によって、リモコンコードが異なります。右の「リモコンコード」をご覧ください。

◆ **入力したリモコンコードの操作が実行されます。**

◆ **正しく設定できたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。**

◆ **正しく設定できなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。もう一度操作をやり直してください。**

「ピピッ」という音が聞こえてこないときは、繰り返し暗証番号を入力してください。回線状態などにより、暗証番号を受けられないことがあります。

4 終了するときは、9 0 を押す

◆ **リモコンアクセスを終了します。**

■ リモコンコード

外出先のファクシミリから、以下のコード番号を入力して、本機を操作できます。

コード	操作内容
■ 設定の変更	
951	メモリー受信を「Off」にする（電話呼出やファクス転送の設定も解除されます）
952	ファクス転送を設定する（転送先の電話番号が設定されていない場合は設定できません）
954	ファクス転送先を設定する 9 5 4 のあと、「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、# を 2 回押す
956	メモリー受信を有効にする
■ ファクスの取り出し	
962	メモリーに記憶されているファクスメッセージを取り出す 9 6 2 のあと、「ピー」と鳴ったら外出先のファクシミリのファクス番号を入力し、# を 2 回押す
971	ファクスメッセージがメモリーに記憶されているか確認する ファクスメッセージがあるとき：「ピー」 ファクスメッセージがないとき:「ピピピッ」
■ 受信モードの変更	
981	「外付留守電モード」に変更する
982	「自動切替モード」に変更する
983	「ファクス専用モード」に変更する
■ リモコンアクセスの終了	
90	リモコンアクセスを終了する

■ 暗証番号を入力するタイミング

リモコンアクセス機能を使用する場合には、暗証番号の入力が必要です。受信モードによって、暗証番号を入力するタイミングが異なります。

※ 受信モードについて ⇒ 30 ページ「受信モードを選ぶ」

(1) ファクス専用モードの場合

- メモリー受信を設定しているとき
  応答後、約 4秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。
- メモリー受信を設定していないとき
  ファクス信号（ピーヒョロヒョロ音）の間の無音状態のときに暗証番号を入力します。

(2) 自動切替モードの場合

応答後、約 4 秒間無音になるので、このときに暗証番号を入力します。

(3) 外付留守電モードの場合

本機と接続している留守番電話が応答後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに暗証番号を入力します。

※ 本機と接続している留守番電話に応答メッセージを録音する際に、あらかじめ 4 〜 5 秒無音状態を入れておいてください。

(4) 電話モードの場合

呼出ベルが約 35 回鳴った後、約 30 秒無音状態になります。無音状態のときに暗証番号を入力します。

ファクスをメモリーやパソコンで受信する　転送機能

受信したファクスを本機のメモリーに記憶したり、本機と接続しているパソコンに転送することができます。

メモリー受信を設定する

［メモリー受信］

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを印刷するとともに本機のメモリーに記憶します。お買い上げ時は、メモリー受信は「Off」に設定されています。

注意

■ メモリー受信を設定していると、カラーファクスは受信できません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 機能/確定 2 5 1 を押す

◆ メモリー受信の設定画面が表示されます。

```
オウヨウ　キノウ
1. テンソウ / メモリージュシン
```

3 で、「メモリージュシン」を選び、機能/確定 を押す

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

- メモリー受信は最大 60 通信または 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。
- 記録紙がないときは、メモリー受信を設定していなくても、メモリー代行受信を行います。
  ⇒ 54 ページ「記録紙がなくなったときは」
- 本機のメモリー残量が少なくなると、メモリー受信の設定をしていてもメモリー受信できなくなります。メモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷または消去してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

本機のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 機能/確定 2 5 3 を押す

◆ ファクス出力の設定画面が表示されます。

```
オウヨウ　キノウ
3. ファクス　シュツリョク
```

2 モノクロスタート を押す

◆ メモリーに記憶されていたファクスメッセージが印刷されます。

◆ 印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

ファクスメッセージをメモリーから消去する

本機のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 機能/確定 2 5 1 を押す

◆ メモリー受信の設定画面が表示されます。

```
オウヨウ　キノウ
1. テンソウ / メモリージュシン
```

2 で「Off」を選び、機能/確定 を押す

◆ 以下の画面が表示されます。

```
ファクス　ショウキョ
1. スル　2. シナイ
```

3 1 を押す

◆ メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。

◆ メモリー受信の設定が解除されます。

第1章 ご使用の前に
第2章 ファクス
第3章 電話帳
第4章 転送・リモコン機能
第5章 コピー
第6章 フォトメディアキャプチャ
第7章 こんなときは
付録

パソコンでファクスを受信する

[PC-FAX 受信]

受信したファクスメッセージを本機と接続しているパソコンに保存できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスを本機に記憶し、パソコンに接続したときにまとめてパソコンに転送します。パソコンでファクスを受信したあと、ファクスメッセージは本機のメモリーから消去されます。

注意

- ■ PC-FAX 受信に設定していても、カラーファクスを受信したときはパソコンに転送せず、本機で印刷します。
- ■ PC-FAX 受信は Windows® でのみ使用できます。

1 機能/確定、2、5、1 を押す

◆ メモリー受信の設定画面が表示されます。

```
オウヨウ　キノウ
1.テンソウ / メモリージュシン
```

2 ▲▼で、「PC ファクス ジュシン」を選び、機能/確定 を押す

◆ 受信するパソコンを選ぶ画面が表示されます。

```
セツゾク▲▼デセンタク
<USB>
```

3 ▲▼で受信するパソコンの名前（コンピュータ名）を選び、機能/確定 を押す

USB に接続しているパソコンを選ぶ場合は、〈USB〉を選びます。

◆ 以下の画面が表示されます。

```
PC ファクス　ジュシン
ホンタイデモ　インサツ　スル
```

4 ▲▼で、設定を選び、機能/確定 を押す

- ●「ホンタイデモ　インサツ　スル」：
  受信したファクスをパソコンに転送すると同時に、本機で印刷します。
- ●「ホンタイデハ　インサツ　シナイ」：
  受信したファクスをパソコンに転送するだけで、本機で印刷しません。

5 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

注意

- ■ パソコンでファクスを受信したい場合は、本機の設定を必ず「PC ファクス　ジュシン」にしてください。

パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、HTML マニュアルをご覧ください。⇒HTML マニュアル「パソコン活用」―「PC-FAX（Windows®）」―「ファクスをパソコンで受ける」

ファクスを転送する・電話を呼び出す

受信したファクスを他のファクシミリへ転送したり、ファクスが届いたことを外出先の電話に知らせたりすることができます。

注意

■ **電話呼び出し機能、ファクス転送、PC-FAX 受信を同時に使用することはできません。**

ファクスを転送する

[ファクス転送]

本機が受信したファクスメッセージを指定したファクシミリに転送することができます。(ファクス転送)
お買い上げ時は、「Off」に設定されています。

- このとき受信したファクスメッセージは、本機のメモリーに記憶されています。
メモリー受信について ⇒ 73 ページ「ファクスをメモリーやパソコンで受信する」
- ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスメッセージは自動的に消去されます。

注意

■ **ファクス転送を設定すると、本機でカラーファクスは受信できません。(相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。)**

1 機能/確定 2 5 1 **を押す**

◆ **転送の設定画面が表示されます。**

オウヨウ　キノウ
1. テンソウ / メモリージュシン

2 **で「ファクス　テンソウ」を選び、機能/確定 を押す**

3 **転送先のファクス番号を入力し、機能/確定 を押す**

◆ **以下の画面が表示されます。**

ファクス　テンソウ
ホンタイデモ　インサツ　スル

- すでに転送先のファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号が表示されます。転送先のファクス番号を変更する場合は 1 を、 変更しない場合は 2 を押します。

4 **で設定を選び 機能/確定 を押す**

- 「ホンタイデモ　インサツ　スル」:
受信したファクスを転送すると同時に、本機で印刷します。
- 「ホンタイデハ　インサツ　シナイ」:
受信したファクスを転送するだけで、本機で印刷しません。

5 停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

■ ファクス転送を解除する

(1) 手順２で「Off」を選び、機能/確定 を押す

(2) 停止/終了 を押す

◆ ファクス転送が解除されます。

- 転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に５分おきに３回まで再ダイヤルされます。

第１章 ご使用の前に
第２章 ファクス
第３章 電話帳
第４章 転送・リモコン機能
第５章 コピー
第６章 フォトメディアキャプチャ
第７章 こんなときは
付録

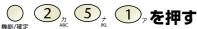
ファクスが届いたことを電話に知らせる

[電話呼出]

ファクスを受信すると、登録した電話番号に電話をかけてファクスが届いたことを知らせます。
そのあと、外出先のファクシミリからリモコンアクセス機能を利用して、ファクスを取り出すことができます。
⇒71 ページ「外出先から本機を操作する」

1   を押す

◆ 転送の設定画面が表示されます。

```
オウヨウ　キノウ
1.テンソウ / メモリージュシン
```

2 で、「デンワ ヨビダシ」を選び、 を押す

3 呼び出し先の電話番号を入力し、 を押す

- すでに呼び出し先の電話番号が登録されている場合は、登録済みの電話番号が表示されます。
- 電話番号を変更する場合は ① を、 変更しない場合は ② を押します。

4   を押す

◆ 設定を終了します。

注意

- ■ 呼出先の電話番号は、外出先から変更することはできません。
- ■ 電話呼出の設定をすると、本機でカラーファクスは受信できません。(相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。)

第5章

コピー

原稿セット

コピー

コピー設定

コピーする前に

原稿セット

コピーに関するご注意

■ 法律で禁止されているもの
（絶対にコピーしないでください）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製はがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

■ 著作権のあるもの

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

■ その他注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

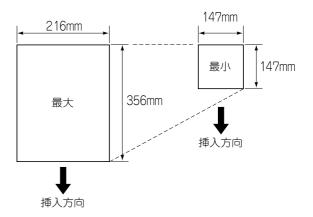
■ 記録紙について

- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

■ 原稿台ガラスについて

- 原稿台ガラスは常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーすることができません。
原稿台ガラスのお手入れ方法について
⇒ 104 ページ「原稿台ガラスを清掃する」

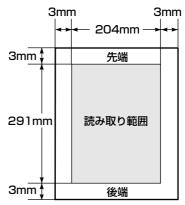
セットできる原稿

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

坪量：　64g/m2 ～ 90g/m2（ADF 使用時）
厚み：　0.08mm ～ 0.12mm（ADF 使用時）
最大質量：2kg（原稿台ガラス使用時）

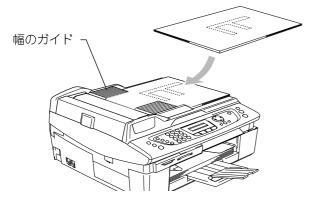
注意

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

原稿の読み取り範囲

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに A4 サイズの原稿をセットした場合の最大読み取り範囲は下記のようになります。

原稿をセットする

■ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

複数枚の原稿をコピーするときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてください。

1 原稿をそろえ、印刷したい面を下にして、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

原稿は一度に 10 枚までセットできます。

2 幅のガイドを原稿の幅に合わせる

■ 原稿台ガラスに原稿をセットする

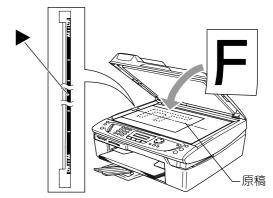
原稿台の原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの「▶」マークに原稿の中央を合わせ、原稿を裏向きにセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

- **原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ったりコピーをすると、画像が黒くなることがあります。**
- **原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。**

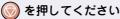
コピーする

コピー

カラーまたはモノクロでコピーします。

- 原稿台ガラスはきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。
原稿台ガラスのお手入れ方法について ⇒ 104 ページ「原稿台ガラスを清掃する」
- モードボタンの初期設定はファクスです。コピー終了後、ファクスモードに戻るまでの時間を変更したい場合は、モードタイマーの設定を変更します。⇒ 20 ページ「モードタイマーを設定する」

注意

■ コピーを途中で中止する場合は、 を押してください。

1 部コピーする

モノクロまたはカラーでコピーします。

1 が緑色に点灯していない場合は、[コピー] を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

- 複数枚の原稿をコピーするときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。
⇒ 79 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」
- 1 枚の原稿や厚みのある原稿をコピーするときは、原稿台ガラスに原稿をセットします。
⇒ 79 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す

◆ 原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1 ～ 99 部まででコピーする枚数を指定してコピーします。

1 が緑色に点灯していない場合は、 を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

- 複数枚の原稿をコピーするときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットします。
⇒ 79 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」
- 1 枚の原稿や厚みのある原稿をコピーするときは、原稿台ガラスに原稿をセットします。
⇒ 79 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3 ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

- 入力した部数を取り消すときは、 を押します。

4 モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す

◆ 原稿がコピーされます。

一時的に設定を変えてコピーする

拡大・縮小してコピーしたり、原稿や使用する記録紙によって最適な設定を選んだりできます。ここで設定した内容は、コピーが終了してから約60秒後に元に戻ります。ただし、モードタイマーが0秒または30秒に設定されているときは、その設定が優先されます。⇒20ページ「モードタイマーを設定する」

■ 設定を変更できる項目

設定する内容	項目名	設定値	参照ページ
画質を変える	コピー　ガシツ	コウソク／ヒョウジュン／コウガシツ	81ページ
拡大・縮小する	カクダイ／シュクショウ	カスタム(25-400%)／204% ハガキ→A4／200%／142% A5→A4／115% B5→A4／113% Lバンタテ→ハガキ／100% トウバイ／86% A4→B5／77% Lバンヨコ→ハガキ／69% A4→A5／50%／46% A4→ハガキ	82ページ
記録紙タイプを変える	キロクシ　タイプ	フツウシ／インクジェットシ／コウタクシ／OHPフィルム	83ページ
記録紙サイズを変える	キロクシ　サイズ	A4／B5／A5／ハガキ	83ページ
明るさを変える	アカルサ	－□□■□□＋（5段階）	84ページ
レイアウトを変える	レイアウト　コピー	Off（1 in 1）／2 in 1（タテナガ）／2 in 1（ヨコナガ）／4 in 1（タテナガ）／4 in 1（ヨコナガ）／ポスター（3x3）	86ページ
コピー枚数を変える	コピー　マイスウ	1～99	－

画質を変えてコピーする

速くコピーしたい場合、よりきれいにコピーしたい場合は、一時的に画質の設定を変えます。お買い上げ時は、「ヒョウジュン」に設定されています。

1 **コピー が緑色に点灯していない場合は、コピー を押す**

◆ コピーモードに切り替わります。

2 **原稿をセットする**

⇒79ページ「原稿をセットする」

3 **複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する**

部数は1～99部まで設定できます。

4 **コピー設定 を繰り返し押して「コピー　ガシツ」を選び、機能/確定 を押す**

5 **で画質を選び、機能/確定 を押す**

画質は「コウソク／ヒョウジュン／コウガシツ」から選びます。

- 「コウソク」:
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 「ヒョウジュン」:
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 「コウガシツ」:
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

◆ 一時的に、画質が変更されます。

他の設定も変更するときは、で設定する項目を選び、続けて設定します。

6 **モノクロでコピーするときは モノクロスタート を カラーでコピーするときは カラースタート を押す**

◆ 画質を変更して、原稿がコピーされます。

拡大・縮小してコピーする

［拡大・縮小コピー］

拡大、または縮小してコピーします。

注意

■ 原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1 コピー **が緑色に点灯していない場合は、** コピー **を押す**

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒79 ページ「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

4 コピー設定 **を繰り返し押して「カクダイ / シュクショウ」を選び、** 機能/確定 **を押す**

5 で倍率を選択し、 機能/確定 **を押す**

倍率は、以下から選びます。

設定できる倍率
カスタム（25-400%）（＊3）
204% ハガキ→ A4
200%
142% A5 → A4
115% B5 → A4
113% L バンタテ→ハガキ（＊2）
100% トウバイ
86% A4 → B5
77% L バンヨコ→ハガキ（＊1）
69% A4 → A5
50%
46% A4 →ハガキ

（＊1）L 判ヨコ向きの写真（89mm × 127mm）をハガキにフィットさせます。

（＊2）L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。

（＊3）「カスタム（25-400%）」を選んだときは、ダイヤルボタンで直接倍率を入力し、機能/確定 を押してください。

◆ 一時的に、コピーの倍率が変更されます。

> 用紙サイズはコピーしたい記録紙の大きさに合わせて、予め設定しておいてください。⇒83 ページ「記録紙サイズを変えてコピーする」
>
> 他の設定も変更するときは、 で設定する項目を選び、続けて設定します。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート **を、カラーでコピーするときは** カラースタート **を押す**

◆ 設定した倍率で、原稿がコピーされます。

記録紙の種類を変えてコピーする

使用する記録紙に合わせて一時的に記録紙タイプを変更します。

1 コピー が緑色に点灯していない場合は、コピー を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 79 ページ「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

4 コピー設定 を繰り返し押して「キロクシタイプ」を選び、機能/確定 を押す

5 で記録紙タイプを選び、機能/確定 を押す

記録紙タイプは「フツウシ／インクジェットシ／コウタクシ／ OHP フィルム」から選びます。

◆ 一時的に、記録紙タイプが変更されます。

記録紙について⇒ 23 ページ「記録紙のセット」

他の設定も変更するときは、 で設定する項目を選び、続けて設定します。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

◆ 記録紙タイプを変更して、原稿がコピーされます。

記録紙サイズを変えてコピーする

サイズの異なる記録紙をセットした場合は、記録紙に合わせて一時的に記録紙サイズを変更します。

1 コピー が緑色に点灯していない場合は、コピー を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 79 ページ「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

4 コピー設定 を繰り返し押して「キロクシサイズ」を選び、機能/確定 を押す

5 で記録紙サイズを選び、機能/確定 を押す

記録紙サイズは「A4 ／ B5 ／ A5 ／ハガキ」から選びます。

◆ 一時的に記録紙サイズが変更されます。

他の設定も変更するときは、 で設定する項目を選び、続けて設定します。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

◆ 記録紙サイズを変更して、原稿がコピーされます。

明るさを変えてコピーする

原稿に合わせて、一時的にコピーの明るさを調整します。

1 **が緑色に点灯していない場合は、** **を押す**

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒ 79 ページ「原稿をセットする」

3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

4 コピー設定 を繰り返し押して「アカルサ」を選び、機能/確定 を押す

5 で明るさを選び、機能/確定 を押す

明るさは 5 段階の調整ができます。「＋」方向（ ）で明るくなり、「ー」方向（ ）で暗くなります。

◆ 一時的に明るさが変更されます。

> 他の設定も変更するときは、 で設定する項目を選び、続けて設定します。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

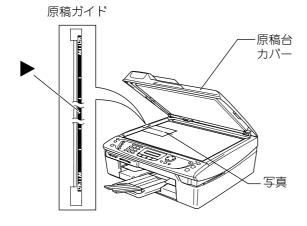
◆ 明るさの設定を変更して、原稿がコピーされます。

例）L 判の写真をハガキ（光沢紙）にコピーする

L 判の写真を、ハガキサイズの光沢紙にコピーする手順を例にして説明します。

1 コピー が緑色に点灯していない場合は、コピー を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドに合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする

3 原稿台カバーを閉じる

4 記録紙トレイにハガキサイズの光沢紙をセットする

⇒ 27 ページ「ハガキ、L 判サイズの記録紙をセットする場合」

5 コピー設定 を繰り返し押して「キロクシ タイプ」を選び、機能/確定 を押す

6 で「コウタクシ」を選び、機能/確定 を押す

7 で「キロクシ　サイズ」を選び、機能/確定 を押す

8 で「ハガキ」を選び、機能/確定 を押す

9 で「コピー　ガシツ」を選び、機能/確定 を押す

10 で「コウガシツ」を選び、機能/確定 を押す

11 で「カクダイ／シュクショウ」を選び、機能/確定 を押す

12 で「113%L バンタテ→ハガキ」を選び、機能/確定 を押す

13 カラースタート を押す

◆ 写真がハガキ（光沢紙）にコピーされます。

2 in1 コピー /4 in1 コピー / ポスターコピーする

［レイアウトコピー］

2枚、または4枚の原稿を1枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

注意

■「レイアウトコピー」では、記録紙サイズを「A4」に設定してください。
■ ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

1 （コピー）が緑色に点灯していない場合は、（コピー）を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

2 原稿をセットする

⇒79 ページ「原稿をセットする」

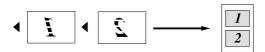
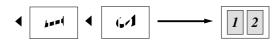
3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は1～99部まで設定できます。
※ この設定は2 in 1、4 in 1のモノクロコピーのみ有効です。

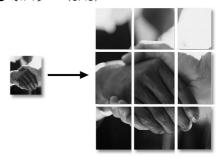
4 （コピー設定）を繰り返し押して「レイアウトコピー」を選び、（機能/確定）を押す

5 （上下キー）でレイアウトを選び、（機能/確定）を押す

レイアウトは「Off（1 in 1）／ 2 in 1（タテナガ）／2 in 1（ヨコナガ）／ 4 in 1（タテナガ）／ 4 in 1（ヨコナガ）／ポスター（3X3)」から選びます。
<原稿のセットのしかた>
※ A4サイズの原稿を使った場合のイメージです。

● 2 in 1（タテナガ）

● 2 in 1（ヨコナガ）

● 4 in 1（タテナガ）

● 4 in 1（ヨコナガ）

● ポスター（3X3）

ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を9枚以上セットしてください。

6 モノクロでコピーするときは（モノクロスタート）を、カラーでコピーするときは（カラースタート）を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、コピーが開始されます。
◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、以下の画面が表示されます。

ツギノ ゲンコウアリマスカ？
1.ハイ　2.イイエ

7 「2 in 1」または「4 in 1」を選んだ場合は（1）を、「Off」または「ポスター」を選んだ場合は（2）を押す

◆ （1）を押した場合は、次の手順に進みます。

ツギノ ゲンコウヲ　セットシテ
カクテイヲ　オシテクダサイ

◆ （2）を押した場合は、コピーを終了します。

8 次の原稿をセットし、（機能/確定）を押す

コピーするすべての原稿に対して、手順7、8を繰り返し行います。

9 すべての原稿を読み取ったら、（2）を押してコピーを終了する

よく使う設定に変える

コピー設定

お買い上げ時の本機の設定を変えることができます。ここで設定した内容は、コピーが終了しても、次に設定を変えるまで有効です。

■ 設定を変更できる項目

設定する内容	項目名		設定値	参照ページ
画質を変える	コピー　ガシツ		コウソク／ヒョウジュン／コウガシツ	87 ページ
明るさを変える	アカルサ		−□□■□□＋（5 段階）	87 ページ
コントラストを変える	コントラスト		−□□■□□＋（5 段階）	88 ページ
カラーの設定を変える	カラー　チョウセイ	レッド	−□□■□□＋（5 段階）	88 ページ
		グリーン	−□□■□□＋（5 段階）	
		ブルー	−□□■□□＋（5 段階）	

印刷品質に合わせて設定を変える

■ 画質の設定を変える

画質の設定（「ヒョウジュン」）を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 機能/確定、3、1 を押す

◆ 画質の設定画面が表示されます。

```
コピー
1. コピー　ガシツ
```

2 （▲▼）で画質を選び、機能/確定 を押す

画質は「コウソク／ヒョウジュン／コウガシツ」から選びます。

- 「コウソク」：
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 「ヒョウジュン」：
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 「コウガシツ」：
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ 明るさの設定を変える

明るさの設定を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 機能/確定、3、2 を押す

◆ 明るさの設定画面が表示されます。

```
コピー
2. アカルサ
```

2 （▲▼）で明るさを調整し、機能/確定 を押す

明るさは 5 段階の調整ができます。「＋」方向（▲）で明るくなり、「−」方向（▼）で暗くなります。

```
アカルサ
−□□■□□＋
```

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ コントラスト（濃淡）の設定を変える

コントラストの設定を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 機能/確定、3、3 を押す

◆ コントラストの設定画面が表示されます。

コピー
3. コントラスト

2 でコントラストを調整し、機能/確定 を押す

コントラストは５段階の調整ができます。「＋」方向（ ）でコントラストが強くなり、「ー」方向（ ）でコントラストが弱くなります。

コントラスト
−□□■□□＋

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ カラーの設定を変える

色バランスの設定を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 機能/確定、3、4 を押す

◆ カラーの設定画面が表示されます。

コピー
4. カラー　チョウセイ

2 で設定する色を選び、機能/確定 を押す

色は「レッド／グリーン／ブルー」から選びます。

3 でカラーバランスを調整し、機能/確定 を押す

各色ごとに５段階の調整ができます。「＋」方向（ ）で色味が増し、「ー」方向（ ）で色味が減少します。

例）レッドの場合

レッド
R：−□□■□□＋

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

第6章

フォトメディアキャプチャ

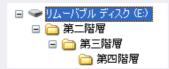
デジカメプリント

スキャン TO カード

写真を印刷する前に　デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真が保存されているメモリーカードを、本機のカードスロットに差し込んで写真を印刷します。パソコンがなくてもデジカメの写真を印刷できます。

注意

- ■ メモリーカードは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- ■ 画像データのフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式の画像データには対応していません。）
- ■ 拡張子が「jpeg」「jpe」のファイルは認識しません。拡張子を「jpg」に変えてください。
- ■ 日本語のファイル名が付けられたデータは、インデックスプリント（⇒ 92 ページ「インデックスプリントを印刷する」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。画像データのファイル名を英数字に変えてください。
- ■ メモリーカード内の画像データは、4 階層までしか認識されません。メモリーカードにパソコン上から画像データを書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダに保存しないでください。

- ■ メモリーカード内の画像データは、フォルダとファイルを合わせて 999 個までしか認識されません。
- ■ フォトメディアキャプチャとパソコンからのメモリーカードの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- ■ Macintosh® の場合、デスクトップにメモリーカードのアイコンが表示されているときは、フォトメディアキャプチャが使用できません。デスクトップのメモリーカードアイコンをゴミ箱に移動したあと、フォトメディアキャプチャをお使いください。

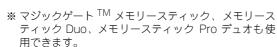
使用できるメモリーカード

本機では、下記のメモリーカードを使用できます。

● コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 2GB）

● スマートメディア®
（3.3V 最大 128MB）

● xD- ピクチャーカード TM
TypeM（高容量対応）

● メモリースティック®（最大 128MB）
メモリースティック Pro（最大 1GB）

※ マジックゲート TM メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオも使用できます。
※ メモリースティック Duo 、メモリースティック Pro デュオを本機にセットするときは、アダプターが必要です。
※ マジックゲート機能（著作権保護機能）はご利用いただけません。

● SD メモリーカード TM
（最大 1GB）

※miniSD メモリーカード TM を本機にセットするときは、アダプターが必要です。

● マルチメディアカード TM
（最大 128MB）

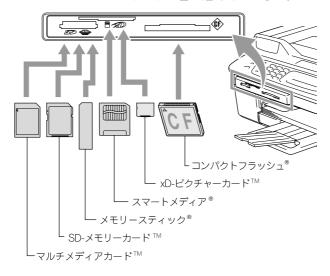
注意

- ■ 本機に対応しているスマートメディア® は 3.3V 専用です。（5V タイプは使用できません。）
- ■ マイクロドライブには対応していません。

メモリーカードをセットする

本機のカードスロットにメモリーカードを差し込む

メモリーカードは、正しいカードスロットにしっかりと差し込んでください。

◆ が点灯します。

⚠ 注意

- が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。
- カードスロットには、メモリーカード以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- コンパクトフラッシュ®はメーカーによって印刷表記が異なります。差し込む前に表裏をご確認ください。
- 2つのメモリーカードを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。

■ メモリーカードのアクセス状況

の表示で、メモリーカードのアクセス状況がわかります。

● 点灯	メモリーカードが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードを取り出すことができます。
● 点滅	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードにさわらないでください。
● 消灯	メモリーカードが差し込まれていません。または、メモリーカードが正しく差し込まれていないため、本機に認識されていません。

メモリーカードが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

■ メモリーカードを取り出すときは

が点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードへのアクセスを終了してから、が点滅していないことを確認して、メモリーカードを引き抜いてください。

■ パソコンからメモリーカードにアクセスする

本機のカードスロットにセットしたメモリーカードは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、HTML マニュアルをご覧ください。⇒ HTML マニュアル「フォトメディアキャプチャ」

インデックスプリントを印刷する

メモリーカードに保存されている画像データを、一覧にして印刷（インデックスプリント）できます。写真を印刷する 場合は、まずインデックスプリントを行い、印刷する写真の番号を確認してください。

DPOF 対応のデジタルカメラで、すでに印刷設定をしているときは、インデックスプリントを確認しなくても指定の写真を印刷できます。⇒ 96 ページ「DPOF データを使って写真を印刷する」

1 メモリーカードがセットされていることを確認し、デジカメプリント を押す

⇒ 91 ページ「メモリーカードをセットする」

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

プリント：▲▼デ　センタク

2 で「インデックスプリント」を選び、機能/確定 を押す

3 で 1 列に印刷される写真の数を選び、機能/確定 を押す

写真の数は、「ハヤイ／ 1 ギョウ 6 コインサツ」「キレイ／ 1 ギョウ 5 コインサツ」から選びます。

●「ハヤイ／ 1 ギョウ 6 コインサツ」：
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に最大 42 個の画像を印刷します。

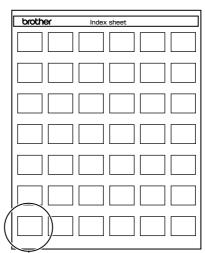
●「キレイ／ 1 ギョウ 5 コインサツ」：
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に最大 30 個の画像を印刷します。

一行あたり 5 画像の場合は、一行あたり 6 画像の場合より、印刷速度が遅くなりますが、品質は良くなります。

4
モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ インデックスプリントが印刷されます。
◆ インデックスプリント終了後は、手順 2 の画面に戻ります。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、001、002、003 のように番号が割り振られます。
- パソコンでメモリーカードを編集した場合、「ごみ箱」に入っている画像データも印刷されます。印刷したくない場合は、ごみ箱を空にしてください。
- インデックス（サムネール）で一度に印刷できるのは 999 画像までです。それ以上の画像が保存されていても無視されます。
- インデックス（サムネール）の設定は固定（A4、一部のみ印刷など）です。
- 印刷できる画像は JPEG ファイル形式（＊.jpg ）だけです。

<インデックスプリント>

「ハヤイ／ 1 ギョウ 6 コインサツ」の場合

NO. 1　　2003. 01. 01
DEI.JPG　　100KB

写真を印刷する

インデックスプリントで確認した番号の写真を印刷します。

DPOF 対応のデジタルカメラをお使いの場合で、印刷する写真の番号や枚数をデジタルカメラ側で設定しているときの印刷方法について⇒ 96 ページ「DPOF データを使って写真を印刷する」

1 メモリーカードがセットされていることを確認し、デジカメプリント を押す

⇒ 91 ページ「メモリーカードをセットする」

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

プリント：▲▼デ　センタク

2 ▲▼で「シャシンプリント」を選び、機能/確定 を押す

◆ DPOF データがないときは、写真の番号を入力する画面が表示されます。

ニュウリョク／カクテイボタン
No.：

◆ DPOF データがあるときは、「DPOF プリント：イイエ」を選んで、機能/確定 を押します。

⇒96ページ「DPOFデータを使って写真を印刷する」

3 印刷したい写真の番号を入力し、機能/確定 を押す

例 1) 1 番、3 番、6 番を印刷したいとき
1、*、3、*、6 と押します。
（* は区切りを意味しています。）

例 2) 1 番～ 5 番を印刷したいとき
1、#、5 と押します。
（# は範囲を意味しています。）

入力できる文字数は、* などの区切り記号も含んで 12 文字まででです。

4 よく使う設定（97 ページ）で印刷する場合は、モノクロスタート または カラースタート を押す

お買い上げ時の設定を変更していない場合は、「L バンタテ　コウタクシ」の設定で印刷されます。

◆ 指定した写真が 1 部ずつ印刷されます。

記録紙の種類や印刷サイズなどを変える場合は、手順 5 へ進みます。

5 機能/確定 を押す

6 ▲▼で使用する記録紙を選び、機能/確定 を押す

記録紙は以下から選びます。
・ L バンタテ　コウタクシ（お買い上げ時の設定です。）
・ 2L バンタテ　コウタクシ
・ ハガキタテ　コウタクシ
・ ハガキタテインクジェットシ
・ ハガキタテ　フツウシ
・ A4　コウタクシ
・ A4　インクジェットシ
・ A4　フツウシ
※ L 判サイズは、写真プリントの「サービスプリント L」です。

- 「A4 コウタクシ／A4インクジェットシ／A4フツウシ」を選んだ場合 ⇒手順 7へ
- その他の記録紙を選んだ場合 ⇒手順 8へ

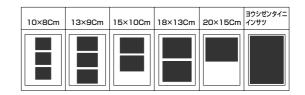
7 ▲▼で印刷サイズを選び、機能/確定 を押す

印刷サイズは「10x8cm ／ 13x9cm ／ 15x10cm ／ 18x13cm ／ 20x15cm ／ヨウシ ゼンタイニ インサツ」から選びます。

8 ダイヤルボタンで印刷する部数を入力し、機能/確定 を押す

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 写真が印刷されます。

第１章 ご使用の前に
第２章 ファクス
第３章 電話帳
第４章 転送・リモコン機能
第５章 コピー
第６章 フォトメディアキャプチャ
第７章 こんなときは
付録

例）L 判、2L 判、ハガキに写真を印刷する

DPOF データのない写真を、L 判サイズやハガキサイズの記録紙に印刷する手順を例にして説明します。

1 記録紙をセットする

⇒27 ページ「ハガキ、L 判サイズの記録紙をセットする場合」

2 メモリーカードがセットされていることを確認し、デジカメプリント を押す

⇒91 ページ「メモリーカードをセットする」

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

プリント：▲▼デ　センタク

3 で「シャシンプリント」を選び、機能/確定 を押す

◆ 写真の番号を入力する画面が表示されます。

ニュウリョク／カクテイボタン No.：

4 印刷したい写真の番号を入力する

例 1）1 番、3 番、6 番を印刷したいとき
1、*、3、*、6 と押します。
（* は区切りを意味しています。）

例 2）1 番～5 番を印刷したいとき
1、#、5 と押します。
（# は範囲を意味しています。）

入力できる文字数は、* などの区切り記号も含んで 12 文字までです。

5 機能/確定 を押す

6 で使用する記録紙を選び、機能/確定 を押す

記録紙のサイズに従って、「L バンタテ コウタクシ」「2L バンタテ コウタクシ」「ハガキタテ コウタクシ」のいずれかを選びます。

7 ダイヤルボタンで印刷する部数を入力し、機能/確定 を押す

8 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 写真が印刷されます。

例）A4 サイズの記録紙に写真を印刷する

DPOF データのない写真を、A4 サイズの記録紙に印刷する手順を例にして説明します。

1 記録紙をセットする

⇒ 25 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メモリーカードがセットされていることを確認し、デジカメプリント を押す

⇒ 91 ページ「メモリーカードをセットする」

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

プリント：▲▼デ　センタク

3 で「シャシンプリント」を選び、機能/確定 を押す

◆ 写真の番号を入力する画面が表示されます。

ニュウリョク／カクテイボタン
No.：

4 印刷したい写真の番号を入力する

例 1) 1 番、3 番、6 番を印刷したいとき
1、＊、3、＊、6 と押します。
（＊ は区切りを意味しています。）

例 2) 1 番～ 5 番を印刷したいとき
1、#、5 と押します。
（# は範囲を意味しています。）

入力できる文字数は、＊ などの区切り記号も含んで 12 文字までです。

5 機能/確定 を押す

6 で使用する記録紙を選び、機能/確定 を押す

記録紙の種類に従って、「A4 コウタクシ」「A4 インクジェットシ」「A4 フツウシ」のいずれかを選びます。

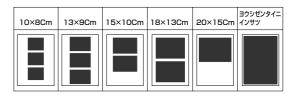
7 で印刷サイズを選び、機能/確定 を押す

印刷サイズは「10x8cm ／ 13x9cm ／ 15x10cm ／ 18x13cm ／ 20x15cm ／ヨウシ　ゼンタイニ インサツ」から選びます。

8 印刷する部数を入力し、機能/確定 を押す

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 写真が印刷されます。

第１章 ご使用の前に
第２章 ファクス
第３章 電話帳
第４章 転送・リモコン機能
第５章 コピー
第６章 フォトメディアキャプチャ
第７章 こんなときは
付　録

DPOF データを使って写真を印刷する

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）とは、デジタルカメラの写真のプリントに関する規定です。印刷する写真の選択や印刷枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、印刷したい写真や枚数を本機側で指定する必要がありません。

1 メモリーカードがセットされていることを確認し、デジカメプリント を押す

⇒91 ページ「メモリーカードをセットする」

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

プリント：▲▼デ　センタク

2 で「シャシンプリント」を選び、機能/確定 を押す

3 で「DPOF プリント：ハイ」を選び、機能/確定 を押す

4 で使用する記録紙を選び、機能/確定 を押す

記録紙は以下から選びます。

- L バンタテ　コウタクシ（お買い上げ時の設定です。）
- 2L バンタテ　コウタクシ
- ハガキタテ　コウタクシ
- ハガキタテインクジェットシ
- ハガキタテ　フツウシ
- A4　コウタクシ
- A4　インクジェットシ
- A4　フツウシ

※L 判サイズは、写真プリントの「サービスプリント L」です。

- 「A4　コウタクシ／A4　インクジェットシ／A4　フツウシ」を選んだ場合 ⇒手順 5 へ
- その他の記録紙を選んだ場合 ⇒手順 6 へ

5 で印刷サイズを選び、機能/確定 を押す

印刷サイズは「10x8cm ／ 13x9cm ／ 15x10cm ／ 18x13cm ／ 20x15cm ／ヨウシ　ゼンタイニ インサツ」から選びます。

6 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 写真が印刷されます。

よく使う設定に変える

お買い上げ時の本機の設定を変えることができます。ここで設定した内容は、写真を印刷しても、次に設定を変更するまで有効です。

■ 設定を変更できる項目

<table>
<tr><th>設定する内容</th><th colspan="3">項目名</th><th>設定値</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>画質を変える</td><td colspan="3">プリント　ガシツ</td><td>ヒョウジュン／シャシン</td><td>97 ページ</td></tr>
<tr><td>印刷サイズを変える</td><td colspan="3">キロクシ＆プリントサイズ</td><td>L バンタテ　コウタクシ／ 2L バンタテ　コウタクシ／ハガキタテ　コウタクシ／ハガキタテインクジェットシ／ハガキタテ　フツウシ／ A4　コウタクシ／A4　インクジェットシ／ A4　フツウシ</td><td>98 ページ</td></tr>
<tr><td>明るさを変える</td><td colspan="3">アカルサ</td><td>ー□□■□□＋（5 段階）</td><td>99 ページ</td></tr>
<tr><td>コントラストを変える</td><td colspan="3">コントラスト</td><td>ー□□■□□＋（5 段階）</td><td>99 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">画質強調の設定を変える</td><td rowspan="4">ガシツ キョウ チョウ</td><td rowspan="3">On</td><td>ホワイトバランス</td><td>ー□□■□□＋（5 段階）</td><td rowspan="4">99 ページ</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td>ー□□■□□＋（5 段階）</td></tr>
<tr><td>カラー　チョウセイ</td><td>ー□□■□□＋（5 段階）</td></tr>
<tr><td colspan="3">Off</td></tr>
<tr><td>画像トリミングの設定を変える</td><td colspan="3">ガゾウ　トリミング</td><td>On ／ Off</td><td>100 ページ</td></tr>
<tr><td>ふちなし印刷の設定を変える</td><td colspan="3">フチナシ　インサツ</td><td>On ／ Off</td><td>100 ページ</td></tr>
</table>

印刷品質に合わせて設定を変える

■ 画質の設定を変える

画像の設定（「シャシン」）を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1

を押す

◆ 画質の設定画面が表示されます。

フォトメディアキャプチャ
1. プリント　ガシツ

2 **で画質を選び、機能/確定 を押す**

画質は「ヒョウジュン／シャシン」から選びます。

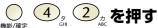
- 「ヒョウジュン」：
  速く印刷する場合に選びます。
- 「シャシン」：
  写真をよりきれいに印刷する場合に選びます。

3 停止/終了 **を押す**

◆ 設定を終了します。

■ プリントサイズの設定を変える

記録紙とプリントサイズの設定（「L バンタテ　コウタクシ」）を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

   を押す

◆ **キロクシ＆プリントサイズの設定画面が表示されます。**

フォトメディアキャプチャ
2. キロクシ＆プリントサイズ

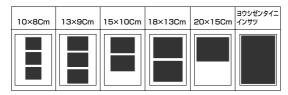
 でプリントサイズを選び、 **を押す**

記録紙は以下から選びます。
- L バンタテ コウタクシ
- 2L バンタテ コウタクシ
- ハガキタテ コウタクシ
- ハガキタテインクジェットシ
- ハガキタテ フツウシ
- A4 コウタクシ
- A4 インクジェットシ
- A4 フツウシ

※L 判サイズは、写真プリントの「サービスプリントL」です。

- 「A4　コウタクシ／A4　インクジェットシ／A4　フツウシ」を選んだ場合 ⇒手順 3 へ進む
- その他の記録紙を選んだ場合 ⇒手順 4 へ進む

 で印刷サイズを選び、 **を押す**

印刷サイズは「10x8cm ／ 13x9cm ／ 15x10cm ／ 18x13cm ／ 20x15cm ／ヨウシ　ゼンタイニ インサツ」から選びます。

停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

原稿に合わせて設定を変える

■ 明るさの設定を変える

明るさの設定を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 機能/確定 4 3 を押す

◆ 明るさの設定画面が表示されます。

フォトメディアキャプチャ
3. アカルサ

2 で明るさを調整し、機能/確定 を押す

明るさは５段階の調整ができます。「＋」方向（ ）で明るくなり、「－」方向（ ）で暗くなります。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ コントラスト（濃淡）の設定を変える

コントラストの設定を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

1 機能/確定 4 4 を押す

◆ コントラストの設定画面が表示されます。

フォトメディアキャプチャ
4. コントラスト

2 でコントラストを調整し、機能/確定 を押す

コントラストは５段階の調整ができます。「＋」方向（ ）でコントラストが強くなり、「－」方向（ ）でコントラストが弱くなります。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ 画質強調の設定を変える

ホワイトバランス、シャープネス、カラー調整の設定を変更します。ここで変更した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
メガピクセル・クラスのカメラで撮影した画像データは、そのまま印刷してください。
なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

1 機能/確定 4 5 を押す

◆ 画質強調の設定画面が表示されます。

フォトメディアキャプチャ
5. ガシツ　キョウチョウ

2 で「On」を選び、機能/確定 を押す

3 で設定する項目を選び、機能/確定 を押す

項目は「ホワイトバランス」「シャープネス」「カラー　チョウセイ」から選びます。

- 「ホワイトバランス」では、画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いに印刷できます。
- 「シャープネス」では、画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 「カラー調整」では、画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。画像全体をくっきりさせることができます。

4 でレベルを調整し、機能/確定 を押す

選択した項目のレベルを調整します。
「カラー　チョウセイ」を選んだときは、「＋」方向（ ）で色味が増し、「－」方向（ ）で色味が減少します。

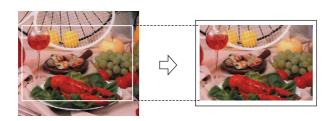
5 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

画像トリミングの設定を変更する

印刷領域いっぱいに写真が印刷されるように、収まらない部分を切り取って（トリミングして）印刷します。

お買い上げ時は、トリミングが有効（On）になっているので、切り取らずに印刷したい場合に「Off」に変更してください。

「On」のとき

「Off」のとき

1 機能/確定 4 GHI 6 MNO **を押す**

◆ **トリミングの設定画面が表示されます。**

フォトメディアキャプチャ
6. ガゾウ　トリミング

2 **で「On」または「Off」を選び、機能/確定を押す**

トリミングをする場合は「On」を、しない場合は「Off」を選びます。

3 停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

ふちなし印刷の設定を変更する

印刷領域いっぱいに写真を印刷する場合は、ふちなし印刷の設定を「On」にします。お買い上げ時は、ふちなし印刷が「Off」になっているので、ふちなし印刷をしたい場合には「On」に変更してください。

1   **を押す**

◆ **ふちなし印刷の設定画面が表示されます。**

フォトメディアキャプチャ
7. フチナシ　インサツ

2 **で「On」または「Off」を選び、機能/確定を押す**

ふちなし印刷をする場合は「On」を、しない場合は「Off」を選びます。

3 停止/終了 **を押す**

◆ **設定を終了します。**

スキャナで読み取った原稿をメモリーカードに保存する　スキャン TO カード

本機でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードに保存できます。TIFF ファイル形式（*.tif）または PDF ファイル形式（*.pdf）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャナで読み取った原稿をメモリーカードに保存する

【スキャン TO カード】

1 メモリーカードをセットする

⇒ 91 ページ「メモリーカードをセットする」

2 原稿をセットする

⇒ 79 ページ「原稿をセットする」

3 スキャン を押す

◆ スキャンモードに切り替わります。

4 で「スキャン TO カード」を選び、機能/確定 を押す

- よく使う設定（102 ページ）で画像を保存する場合 ⇒手順 8 へ
- 画質や保存形式を変更する場合 ⇒手順 5 へ

お買い上げ時の設定を変更していない場合は、画質が「カラー 150dpi」、ファイル形式が「PDF」に設定されています。

5 で画質を選び、機能/確定 を押す

画質は以下から選びます。

- カラー　150dpi
- カラー　300dpi
- カラー　600dpi
- モノクロ　200X100dpi
- モノクロ　200dpi

6 で保存するファイル形式を選び、機能/確定 を押す

ファイル形式は、以下から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  「JPEG ／ PDF」
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  「TIFF ／ PDF」

7 保存するファイルの名前を入力し、機能/確定 を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。
ファイル名は、スキャンした日付で自動的に付けられています。
例）2005 年 5 月 3 日の場合は、「050503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です。）

注意

■ ファイル名にカタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベットまたは数字で付けてください。

8 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、スキャンを終了します。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、「ツギノゲンコウアリマスカ？ 1. ハイ　2. イイエ」と表示されます。

- 読み取る原稿が 1 枚の場合 ⇒手順 11 へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒手順 9 へ

9 1ア を押す

◆ 以下の画面が表示されます。

ツギノゲンコウヲ　セットシテ
カクテイヲ　オシテクダサイ

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、機能/確定 を押す

メモリーカードに保存する原稿の枚数だけ、手順 9、10 を繰り返します。

11 すべての原稿をスキャンしたら、2カABC を押す

◆ スキャンを終了します。

注意

● デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。

本機をスキャナとして使う操作については、HTML マニュアルをご覧ください。⇒ HTML マニュアル「スキャナ」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Acrobat® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

よく使う設定に変える

スキャン TO カードをする際の画質やファイルタイプの設定を変更します。ここで設定した内容は、次に設定を変更するまで有効です。

■ 画質の設定をする

スキャンするときの画質を変更します。お買い上げ時は、「カラー 150dpi」に設定されています。

1 機能/確定 4 8 1 **を押す**

◆ 画質の設定画面が表示されます。

スキャン TO カード
1. スキャン ガシツ

2 で画質を選び、機能/確定 **を押す**

画質は以下から選びます。

- カラー 150dpi
- カラー 300dpi
- カラー 600dpi
- モノクロ 200X100dpi
- モノクロ 200dpi

3 停止/終了 **を押す**

◆ 設定を終了します。

■ モノクロでスキャン TO カードするときのファイルタイプを設定する

スキャン TO カードをして保存されるファイル形式を設定します。お買い上げ時は「TIFF」に設定されています。

1 機能/確定 4 8 2 **を押す**

◆ ファイルタイプの設定画面が表示されます。

スキャン TO カード
2. モノクロ ファイルタイプ

2 で保存するファイル形式を選び、機能/確定 **を押す**

ファイル形式は「TIFF ／ PDF」から選びます。

3 停止/終了 **を押す**

◆ 設定を終了します。

■ カラーでスキャン TO カードするときのファイルタイプを設定する

スキャン TO カードをして保存されるファイル形式を設定します。お買い上げ時は「PDF」に設定されています。

1 機能/確定 4 8 3 **を押す**

◆ ファイルタイプの設定画面が表示されます。

スキャン TO カード
3. カラー ファイルタイプ

2 で保存するファイル形式を選び、機能/確定 **を押す**

ファイル形式は「JPEG ／ PDF」から選びます。

3 停止/終了 **を押す**

◆ 設定を終了します。

第７章

こんなときは

日常のお手入れ

困ったときは

本機が汚れたら

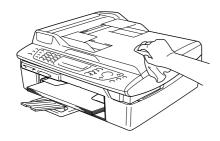
日常のお手入れ

本機が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

本機の外側を清掃する

本機は乾いた布で軽く拭いてください。

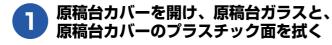
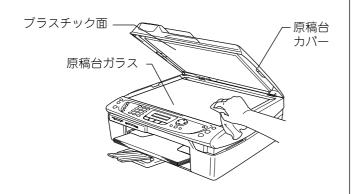
注意

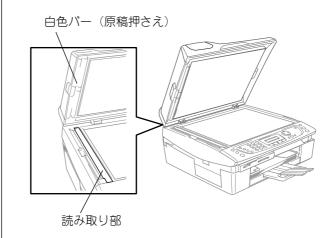
- ■ **ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本機の操作パネルの文字が消えることがあります。**

原稿台ガラスを清掃する

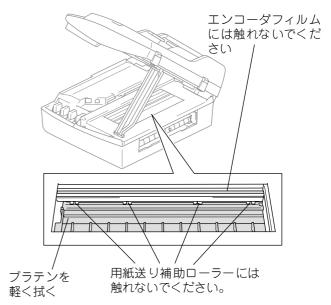
原稿台ガラスが汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに原稿台ガラスを清掃してください。

注意

- ■ **ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。**

1 原稿台カバーを開け、原稿台ガラスと、原稿台カバーのプラスチック面を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で拭きます。

無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなども使用できます。

2 白色バー（原稿押さえ）と読み取り部を拭く

キャビネット内部を清掃する

記録紙の裏面が汚れる場合は、水を含ませて固く絞った布でプラテンを軽く拭きます。
インクがプラテンの周囲に飛び散っている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

⚠注意

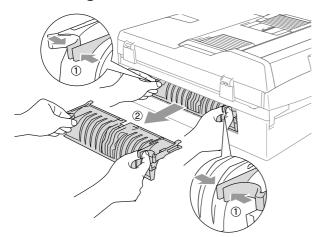
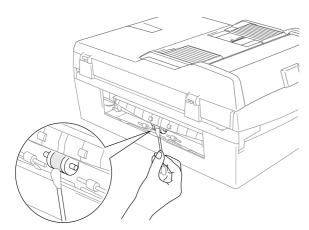
- ● **用紙送り補助ローラー、エンコーダフィルムには触れないでください。**
- ● **内部を清掃するときは、必ず清掃前に電源コードをコンセントから抜いてください。**

給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、給紙しにくくなります。

1 電源コードをコンセントから外す

2 本機背面の紙づまり解除カバーを取り外す

両手で左右のつまみをつまんだまま（①）、手前に引いて（②）取り外します。

3 アルコールを含ませた綿棒で給紙ローラーを拭く

4 紙づまり解除カバーを取りつける

5 電源コードをコンセントに差し込む

紙がつまったときは

記録紙がつまると、ブザーが鳴って液晶ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

・「キロクシガ　ツマッテイマス／ウシロノカバーヲアケテ　ツマッタカミヲ　トリノゾイテクダサイ」

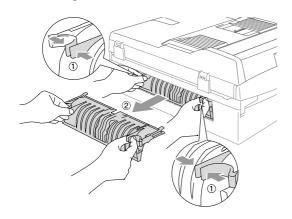
記録部につまった記録紙を取り除く

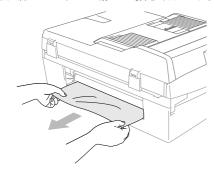
記録部に記録紙がつまったときは、以下の手順で記録紙を取り除きます。

注意

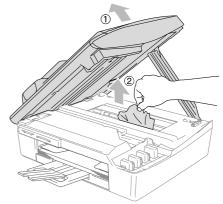
■ プリントヘッドの下に紙がつまったときは、電源を切ってからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

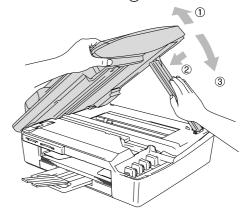
1 本機背面の紙づまり解除カバーを取り外す

両手で左右のつまみをつまんだまま（①）、手前に引いて（②）取り外します。

2 記録部入口につまった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

3 紙づまり解除カバーを取りつける

4 記録部に記録紙が残ったときは、本体カバーをしっかり固定される位置まで上げて（①）、残っている記録紙を取り除く（②）

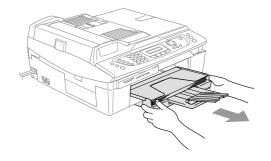
紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

5 本体カバーを閉める

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（①）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（②）、本体カバーを閉めます（③）。

注意

■ 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意し、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

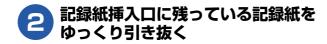
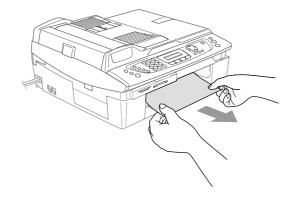
記録紙挿入口につまった記録紙を取り除く

記録紙挿入口に記録紙がつまったときは、以下の手順で記録紙を取り除きます。

1 記録紙トレイをはずす

注意

■ 記録紙挿入口に繰り込まれている記録紙は、無理に引き抜かないでください。

2 記録紙挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

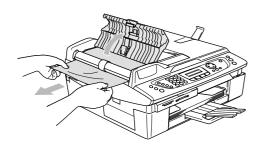
第１章 ご使用の前に
第２章 ファクス
第３章 電話帳
第４章 転送・リモコン機能
第５章 コピー
第６章 フォトメディアキャプチャ
第７章 こんなときは
付録

ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは

ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは、ブザーが鳴って下記のメッセージが表示されます。
・「ゲンコウガ ツマッテイマス／ツマッタカミヲ トリノゾイテ テイシボタンヲ オシテクダサイ」

■ ADF（自動原稿送り装置）の出口でつまった原稿を取り除く

1 ADF（自動原稿送り装置）から、つまっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿を抜き取る

原稿が破れないよう、静かに抜き取ります。

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

4

を押す

■ ADF（自動原稿送り装置）内でつまった原稿を取り除く

1 ADF（自動原稿送り装置）から、つまっていない原稿をすべて取り除く

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を抜き取る

原稿が破れないよう、静かに抜き取ります。

3 原稿台カバーを閉じる

4 停止/終了 を押す

インクがなくなったときは

本機は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをおすすめします。

- インクの残りが少なくなったとき（ブラックが少なくなったとき）:「インク　ノコリスコシ　ブラック」
- インクがなくなったとき:「インクギレ　ブラック／インクヲ　コウカンシテクダサイ」

注意

■ **どれか１つのインクがなくなった場合でも、「インクギレ　○○／インクヲ　コウカンシテクダサイ」と表示されたときは、インクカートリッジを交換するまで印刷できません。以下の手順でインクカートリッジを交換してください。**

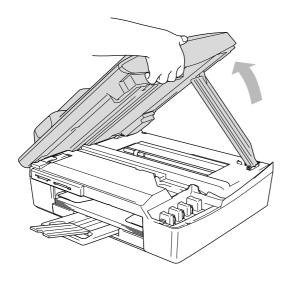
必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 111 ページ「インク残量を確認する」
お近くの販売店で交換用のインクカートリッジが手に入らないときは、「ご注文シート」などでご注文ください。
⇒ 115 ページ「消耗品を注文したいときは」

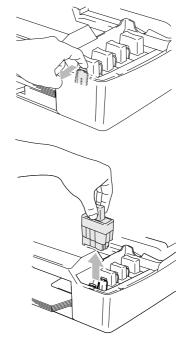
インクカートリッジを交換する

インクが少なくなったインクカートリッジを、新しいインクカートリッジに交換します。

注意

■ **インクカートリッジを交換するメッセージが出ていないときは、インクカートリッジを交換しないでください。本機がインク残量を正しく把握できなくなります。**
■ **開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。**
■ **インクカートリッジにインクを補充しないでください。プリントヘッドに障害を与える可能性があります。また、この場合は保証の対象外となります。**
■ **インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。**

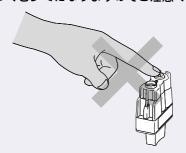
1 本体カバーを横から開き、しっかりと固定される位置まで上げる

2 フックを外して、インクが少なくなったインクカートリッジを抜き取る

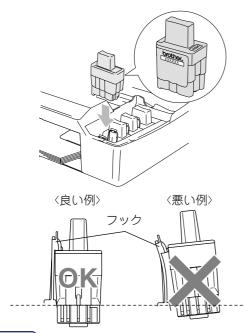
第１章 ご使用の前に
第２章 ファクス
第３章 電話帳
第４章 転送・リモコン機能
第５章 コピー
第６章 フォトメディアキャプチャ
第７章 こんなときは
付録

インクカートリッジを準備する

新品のインクカートリッジを開封し、キャップを取ります。

インクカートリッジの開封時にキャップが外れることがありますが、品質に影響はありませんので、そのまま取り付けてください。

注意

■ **インクカートリッジのインク開口部には手を触れないでください。インク開口部はインクで濡れています。衣類につくとシミになりますのでご注意ください。**

4 新しいインクカートリッジをインク挿入口に差し込む

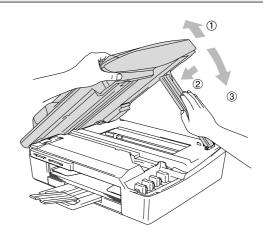
本体側のフックがインクカートリッジの上面にかかるまで、まっすぐに押し込みます。

注意

■ **インクカートリッジを何度も抜き差ししないでください。インクが漏れることがあります。**

本体カバーを閉じる

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（①）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（②）、本体カバーを閉めます（③）。

注意

■ **本体カバーを閉めているときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。**

◆ **「インク　ノコリスコシ」のメッセージが表示されているときにインクを交換したときは、本体カバーを閉じると、ディスプレイに確認メッセージが表示されます。**
例）「ブラック」を交換したとき

インク　ヲ　コウカンシマシタカ
ブラック　1. ハイ 2. イイエ

6 インクカートリッジを交換したことを確認し、①を押す

◆ **待ち受け画面に戻ります。**

注意

■ **新品のインクカートリッジに交換したときは、必ず、①を押してください。①を押さなかった場合、本機のインクドットカウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなります。**

「インクヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示されているときにインクを交換した場合は、自動的にインクドットカウンターがリセットされます。

■ インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）

インク残量を確認する

本機では、以下の手順でインク残量を確認できます。

1 インク残量 を押す

◆ インク残量の確認画面が表示されます。

2 で確認したい色を選ぶ

「ブラック／シアン／イエロー／マゼンタ」のインク残量を確認できます。

◆ 選んだインクの残量が表示されます。
例）ブラックのとき

3 停止/終了 を押す

◆ 確認を終了します。

パソコンからも本機のインク残量を確認できます。詳しくは、HTML マニュアルをご覧ください。
⇒HTML マニュアル「プリンタ」－「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」
⇒HTML マニュアル「パソコン活用」－「便利な使い方（Control Center2）」

印刷が汚いときは

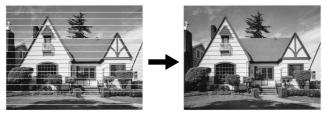
横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

本機は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。印刷を開始するときなどに行われます。

プリントヘッドをクリーニングする

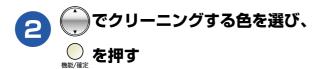
1回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口（コールセンター）「0570-031523」へご連絡ください。

目詰まり時　　　正常

ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 ヘッドクリーニング を押す

◆ ヘッドクリーニングの設定画面が表示されます。

ヘッド　クリーニング
ブラック

2 でクリーニングする色を選び、機能/確定 を押す

色は、「ブラック」「カラー」「ゼンショク」から選択します。

◆ プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

「ブラック」または「カラー」を選んだときは、クリーニングに約 30 秒かかります。「ゼンショク」を選んだときは、約 1 分かかります。

印刷品質をチェックする

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

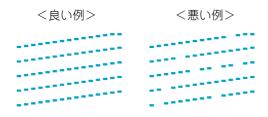
1 テストプリント を押す

2 で「インサツ ヒンシツ」を選び、機能/確定 を押す

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆「印刷品質チェックシート」が印刷されます。印刷後は、「インサツ ヒンシツ OK？ 1. ハイ 2. イイエ」と表示されます。

4 きれいに印刷されているときは 1 を、きれいに印刷されていないときは 2 を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、2 を押します。

◆ 1 を押した場合は、停止/終了 を押して、印刷品質チェックを終了します。

◆ 2 を押した場合は、「ブラック OK？ 1. ハイ 2.イイエ」と表示されるので、手順5へ進みます。

5 黒色がきれいに印刷されているときは 1 を、きれいに印刷されていないときは 2 を押す

◆「カラー OK？ 1. ハイ 2. イイエ」と表示されます。

6 カラーがきれいに印刷されているときは 1 を、きれいに印刷されていないときは 2 を押す

◆「クリーニング カイシ？ 1.ハイ 2.イイエ」と表示されます。

7 1 を押す

◆ プリントヘッドがクリーニングされます。

◆ クリーニングが終わると、「テストプリント／スタートボタンヲ　オス」と表示されます。

8 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

◆ 印刷後は、「インサツ ヒンシツ OK？ 1. ハイ 2. イイエ」と表示されます。きれいに印刷されていたら、1 を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、手順 4 に戻ります。

9 停止/終了 を押す

◆ 印刷品質のテストを終了します。

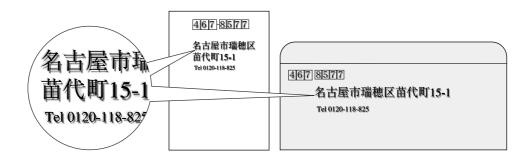
注意

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

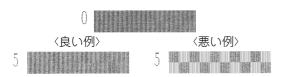
印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて修正します。

1. テストプリント ○ を押す

2. ○ で「インサツ イチ」を選び、機能/確定 ○ を押す

3. モノクロスタート ○ または カラースタート ○ を押す

   ◆「印刷位置チェックシート」が印刷されます。印刷後は、「インサツ イチ OK？ 1. ハイ 2. イイエ」と表示されます。

4. 600dpi、1200dpi とも「NO.0」と最も似ている印字パターンが「NO.5」のときは ① を、「NO.5」以外のときは ② を押す

   「NO.0」と最も似ているのが「NO.5」であれば正常です。

   ◆ ① を押した場合は、印刷位置チェックを終了します。

   ◆ ② を押した場合は、「600DPI ノ　ホセイ No. ヲ　エランデクダサイ 5」と表示されるので、手順 5 へ進みます。

5. 600dpi について、「NO.0」と最も似ている印字パターンの番号を入力する

   ◆「1200DPI ノ ホセイ No. ヲ エランデクダサイ 5」と表示されます。

6. 1200dpi について、「NO.0」と最も似ている印字パターンの番号を入力する

7. 停止/終了 ○ を押す

   ◆ 印刷位置のテストを終了します。

消耗品を注文したいときは

- 消耗品は、お近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。
- ファクスにてご注文される場合は、ご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上の場合は全国無料です。
- 5,000 円未満の場合は、500 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土･日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞　・・・**ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**
　※配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。
＜お振込（銀行･郵便）＞　・・・**ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**
　※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
　※振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞　・・・**カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**
　※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

● **ご注文先**
ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ
ホームページ：http://direct.brother.co.jp
住所　：〒 467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL　：0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9：00 ～ 12：00　13：00～ 17：00）
FAX　：052-825-0311
振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行　：三井住友銀行上前津（カミマエヅ）支店普通 6428357
郵便　：振り込み番号 00860-1-27600

消耗品について ⇒ 150 ページ「消耗品」

ご注文シートを印刷する

巻末のご注文シートをコピーしてお使いいただくこともできます。

1 レポート を押す

2 で「ゴチュウモン　シート」を選び、機能/確定 を押す

◆ ご注文シートの印刷を設定する画面が表示されます。

ゴチュウモン　シート
スタートボタンヲ　オス

3
モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ ご注文シートが印刷されます。

ご注文シート

・消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、電話、ﾌｧｸｽによるご注文も承っております。
・ﾌｧｸｽにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上の場合は全国無料です。
　5,000 円未満の場合は 500 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
・納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
・配送地域は日本国内に限らせていただきます。
＜代引き＞　・・・・**ご注文後２～３営業日後の商品発送**
　※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。
＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・**ご入金確認後２～３営業日後の商品発送**
　※　代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振込下さい。）
　※　振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞　・・・・**カード番号確認後２～３営業日後の商品発送**
　※　カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。
【ご注文先】　ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ：http://direct.brother.co.jp
FAX：０５２－８２５－０３１１
TEL：０１２０－１１８－８２５
（土・日・祝日、長期休暇を除く 9:00～12:00 13:00～17:00）
振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通　6428357
郵便：振り込み番号　00860-1-27600
お客様ご住所 〒
お名前　TEL　FAX
お支払い方法　銀行前振込 ・ 郵便前振込 ・ 代引き ・ カード

設定内容を知りたいときは

現在設定されている内容を印刷します。設定内容を確認するときなどにお使いいただくと便利です。

設定内容リストを印刷する

1. レポート を押す

2. で「セッテイナイヨウ　リスト」を選び、機能/確定 を押す

◆ 設定内容リストの印刷を設定する画面が表示されます。

セッテイナイヨウ　リスト
スタートボタンヲ　オス

3. モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 設定内容リストが印刷されます。

機能や操作のしかたを知りたいときは

機能の解説を印刷します。操作方法を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

機能案内リストを印刷する

1. レポート を押す

2. で「キノウアンナイ」を選び、機能/確定 を押す

◆ 機能案内リストの印刷を設定する画面が表示されます。

キノウアンナイ
スタートボタンヲ　オス

3. モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 機能案内リストが印刷されます。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージと処置方法が液晶ディスプレイに表示されます。ディスプレイに表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0570-031523」へご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処
ｲﾝｸ ﾉｺﾘｽｺｼ（ﾌﾞﾗｯｸ、ｼｱﾝ、ｲｴﾛｰ、ﾏｾﾞﾝﾀ）	インクの残りが少なくなっている。 このとき、カラーファクスの受信は中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	カラーファクスを受信したいときは、新しいインクカートリッジに交換してください。⇒ 109 ページ「インクカートリッジを交換する」 「ご注文シート」を使って購入することもできます。⇒ 115 ページ「消耗品を注文したいときは」 なお、モノクロでのファクス受信やカラーコピーに影響はありません。「インクギレ」になるまで、利用できます。
ｲﾝｸｷﾞﾚ（ﾌﾞﾗｯｸ、ｼｱﾝ、ｲｴﾛｰ、ﾏｾﾞﾝﾀ） ｲﾝｸｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	インク切れ。 1色でもインクがなくなると、印刷できなくなります。このとき、ファクスメッセージはメモリーに記憶されます。また、カラーファクスの受信は中止しています。	液晶ディスプレイに表示されている色のインクカートリッジを交換してください。⇒ 109 ページ「インクカートリッジを交換する」
ｲﾝｻﾂ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｼｮｷｶ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｽｷｬﾝ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ﾍｯﾄﾞ ﾄﾞｳｻﾃﾞｷﾏｾﾝ	機械内部で記録紙の破片や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の破片や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。問題が解決されない場合は、電源コードをいったん抜いて、接続し直す必要があります。ただし、電源コードを抜くと本機のメモリーに残っているファクスメッセージが消去されてしまいますので、電源を抜く前に以下の手順でファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送してください。電源コードを接続し直しても問題が解決されない場合は、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）へご連絡ください。 **別のファクシミリに転送する場合** (1) 機能/確定 9 0 1 を押す 「ジュシンデータハ　アリマセン」と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。 「ダイヤルシテクダサイ」と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順（2）に進んでください。 (2) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す （注意）発信元登録がされていないと転送ができません。 （注意）転送先のファクシミリがカラーファクス受信できない場合は、カラーファクスの転送はできません。 **本機と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合** (1) 機能/確定 2 5 1 を押す (2) ▲▼で「PC ファクス　ジュシン」を選び、機能/確定 を押す メモリーにファクスメッセージがあるときは、「ファクスヲPC ニ　テンソウ？」と表示されます。 (3) 1 を押す (4) 停止/終了 を押す （注意）カラーファクスは、パソコンに転送できません。 **通信管理レポートを別のファクシミリに転送する場合** (1) 機能/確定 9 0 2 を押す (2) 通信管理レポートの転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す
ｶｲｾﾝｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	電話機コードを接続していない（接続するのが遅かった）。 ＡＤＳＬ の ＩＰ フォンに接続している。 ＰＢＸ に接続している。 マンションアダプタ回線に接続している。	電話回線を接続し直してください。⇒かんたん設置ガイド　12 ページ「接続する」 電話回線に接続しないで使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒ 22 ページ「回線種別を設定する」

エラーメッセージ	原因	対処
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾎﾝﾀｲｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃ ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ﾄﾘﾂｹﾃｸﾀﾞｻｲ	インクカートリッジが装着されていません。	インクカートリッジを装着してください。⇒ 109 ページ「インクカートリッジを交換する」
ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾎﾝﾀｲｶﾊﾞｰ ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを再度閉め直してください。
ｷﾛｸｼｶﾞ ﾂﾏｯﾃｲﾏｽ ｳｼﾛ/ｶﾊﾞｰｦｱｹﾃ ﾂﾏｯﾀｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。⇒ 106 ページ「紙がつまったときは」
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞﾏﾁｶﾞｲ A4 ｻｲｽﾞﾉ ｷﾛｸｼｦｾｯﾄｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙トレイにA4 サイズ以外の記録紙がセットされている。	A4 サイズの記録紙をセットして （モノクロスタート） または （カラースタート） を押してください。
ｷﾛｸｼｦ ｵｸﾚﾏｾﾝ ｷﾛｸｼｦ ｲﾚﾅｵｼﾃ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、正しくセットして、（モノクロスタート） または （カラースタート） を押してください。
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞﾁｭｳ	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。
ｼﾂｵﾝｶﾞ ﾀｶｽｷﾞﾏｽ ｼﾂｵﾝｦ ｻｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
ｼﾂｵﾝｶﾞ ﾋｸｽｷﾞﾏｽ ｼﾂｵﾝｦ ｱｹﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ	自動で回線種別が設定できなかった。	手動で回線種別を設定してください。⇒ 22 ページ「回線種別を設定する」
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話やIP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話やIP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約のIP 網サービス会社へお問い合わせください。
ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ	パソコンから本機に印刷するデータを送っている途中でケーブルが抜けた。 パソコン側がハングアップした。	（停止/終了） を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞ ｦ ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。⇒かんたん設置ガイド 12 ページ「接続する」
ﾊﾅｼﾁｭｳ / ｵｳﾄｳﾅｼ	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 相手がファクスでない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、「ﾊﾅｼﾁｭｳ / ｵｳﾄｳﾅｼ」になります。
ﾌｧｲﾙ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	メモリーカード内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードに保存されているファイル形式を確認してください。
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾖｳﾁｭｳ	本機のプリンタが、動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ ｴﾗｰ ｲﾚﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	メモリーカードがフォーマットされていない。 メモリーカードが壊れている。	メモリーカードを抜き、正しいメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードがカードスロットに正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	本機のメモリーがいっぱいで、メモリーカード内のファイルが読み取れない。	本機のメモリーをクリアするか（⇒ 73 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」）、メモリーカード内の画像データのサイズを小さくしてください。

エラーメッセージ	原因	対処
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	空きメモリーが不足している。 （コピー中に表示される）	コピーを中止するには 停止/終了 を押してください。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ｽﾀｰﾄﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｿｳｼﾝ ﾃｲｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ﾄﾘｹｼ	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。ファクスメッセージを消去してください。モノクロスタート または カラースタート を押すと、すでに読み込んだ原稿を送信します。停止/終了 を押すと送信を中止します。
ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。⇒ 73 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」

故障かな？と思ったときは

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）の Q＆A をチェックしてください。それでも異常があるときは、「お客様相談窓口 0570-031523」へご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。⇒かんたん設置ガイド　12 ページ「接続する」
		IP 電話機能の付いた ADSL モデムと接続していませんか。	ADSL モデムを外し、本機の電話機コードを直接モジュラージャックに接続してください。
ISDN	電話がかかってきても本機の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源コードを接続してください。
		本機に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプタが正しく設定されていません。ターミナルアダプタの設定を確認してください。また、ターミナルアダプタの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプタの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは NTT にお問い合わせください。
	本機が接続されているアナログポートに 1～2 回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプタやダイヤルアップルータの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本機を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合は、以下のように設定してください。 ・ サブアドレスなし着信：「着信する」 ・ HLC 設定：「HLC 設定しない」 ・ 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本機を接続している場合は、以下のように設定してください。 ・ サブアドレスなし着信：「着信する」 ・ HLC 設定：「HLC 設定しない」 ・ 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプタの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	グローバル着信は「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を「ISDN」にしてください。⇒ 126 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口 0570-031523 へご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。（電話も使えない）	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口 0570-031523 へご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ファクス／コピー	スタートボタンを押しても送信／受信しない。	本機と接続している電話機が通話中ではありませんか。	本機と接続している電話機の受話器を確認してください。
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。⇒ 22 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認してください。
	ファクス送信／受信ができない。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、「ヒョウジュン」→「アンシン」の順にお試しください。⇒ 126 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、「ヒョウジュン」→「アンシン」の順にお試しください。⇒ 126 ページ「安心通信モードに設定する」
	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくは NTT にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	下記の機能を設定しているときは、カラーファクスの受信ができません。 ・安心通信モード ・メモリー受信／ファクス転送／電話呼出／ PC-FAX 受信	カラーで受信したいときは、これらの設定を解除してください。 ・安心通信モード：「ヒョウジュン」にする⇒ 126 ページ「安心通信モードに設定する」 ・メモリー受信／ファクス転送／電話呼出／ PC-FAX 受信：「Off」にする（73 ～ 76 ページ）
		インクが残り少なくなるとカラーファクスの受信ができません。	カラーファクスを受信したいときは、新しいインクカートリッジに交換してください。⇒ 109 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号の後に 再ダイヤル/ポーズ を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルした後、少し待ってからダイヤルしてください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信をOnにしていませんか。	リアルタイム送信を Off にしてください。⇒ 49 ページ「原稿をすぐに送る」
		オンフック を押してファクスを送信していませんか。	オンフック を押さずに送信してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。⇒ 104 ページ「原稿台ガラスを清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。⇒ 44 ページ「一時的に画質を変えて送る」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホンⅡ」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。⇒かんたん設置ガイド　12 ページ「接続する」
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機の読み取り部分、または受信側ファクシミリのプリンタのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。⇒ 104 ページ「原稿台ガラスを清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除いてください。⇒ 106 ページ「紙がつまったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。⇒ 111 ページ「インク残量を確認する」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。⇒ 80 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手にもう一度、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	読み取り部を清掃してください。⇒ 104 ページ「原稿台ガラスを清掃する」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿がA4より長くありませんか。	自動縮小の設定を「On」にしてください。⇒ 55 ページ「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	着信回数が多すぎませんか。	着信回数を 6 回以下に設定してください。⇒ 33 ページ「呼出回数を設定する」または、モノクロスタート か カラースタート を押して手動で受信してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を「PBX」にしてください。⇒ 126 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、「お客様相談窓口 0570-031523」にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽く当たるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が斜めになってしまう。	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	原稿ガイドを確実に原稿に合わせてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにコピーできない。	原稿台ガラスからコピーしてください。	
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をほぐして入れ直してください。⇒ 25 ページ「記録紙のセットのしかた」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	同じ種類の記録紙のみセットしてください。
	本機が印刷をしない。	本機の電源が入っていますか。	電源を入れてください。
		インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取りつけてください。⇒ 109 ページ「インクカートリッジを交換する」
		USB ケーブルまたはネットワークケーブル（LAN ケーブル）が正しく接続されていますか。	USB ケーブルまたはネットワークケーブル（LAN ケーブル）を正しく接続してください。⇒かんたん設置ガイド
	印刷された画像に規則的に横縞（バンディング）が現れる。	印刷品質の設定を変えてみてください。	プリンタドライバの「基本設定」タブの「印刷品質」の［設定］をクリックして表示される画面で、「標準（きれい）印刷」を ON にしてみてください。それでも改善されない場合は、「用紙種類」を「乾きにくい紙」に設定してください。
	印刷速度が極端に遅い。	「画質強調」が設定されていませんか。	プリンタドライバの「基本設定」タブの「印刷品質」の［設定］をクリックして表示される画面で、「画質強調」を OFF にしてみてください。または、「画質強調」の［詳細設定］をクリックして表示される画面で、「自動イメージ処理」を OFF にしてみてください。
	「画質強調」が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では「画質強調」は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも 24 ビットカラー以上をご使用ください。Windows の［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］－［画面］－［設定］を選び、画面の色を 24ビット以上に設定してください。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口 0570-031523 にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 外装箱に有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		湿度が高すぎる、または低すぎませんか。	本機の使用環境温度内でご利用ください。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。⇒ 112 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロでしか印刷されない。	カラーインクカートリッジが空かほとんど空になっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。	問題が改善されない場合は、ヘッドクリーニングを数回します。もう一度印刷し直しても、印刷の質が良くならない場合は、インクカートリッジを交換してください。 インクカートリッジを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、お客様相談窓口 0570-031523 にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。⇒ 109 ページ「インクカートリッジを交換する」
	「2 ページ」プリントがうまくプリントできない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタドライバの設定を確認してください。	アプリケーションで「2 ページ」を設定している場合は、プリンタドライバの「2 ページ」の設定を解除してください。
	マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない。	プリンタドライバの [拡張機能] タブで [イメージタイプ] の設定を確認してください。	「イメージタイプ」の設定を「写真」にしてください。
スキャナ	スキャン中に TWAIN エラーが表示される。	ブラザーTWAIN ドライバが選択されていますか。	アプリケーションで [ファイル]-[TWAIN 対応機器の選択] を選択して、ブラザー TWAIN ドライバを選択してください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	Windows® XP をお使いの場合、スキャンをした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。	原稿台ガラスからスキャンしてください。	
ソフト（Windows®）	「本ブラザー製品接続エラー」か「本ブラザー製品はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	本機の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	アドビ・イラストレーターを使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ＢＲＵＳＢ： ＵＳＢＸＸＸ： への書き込みエラーが表示される。	インク切れを確認してください。	液晶ディスプレイに表示されている色のインクカートリッジを交換してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト（Windows®）	メモリーカードがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	ドライバがインストールされていますか。	ドライバをインストールしてください。インストール方法については、かんたん設置ガイドをご覧ください。
		メモリーカードが停止状態になっていませんか。	メモリーカードを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカード内のファイルを開いていたり、エクスプローラでメモリーカード内のフォルダを表示していませんか。	パソコン上で「取り出し」操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在カードにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードを使用中のアプリケーションやエクスプローラをすべて閉じないと、「取り出し」操作はできません。）
		一度、パソコンと本機の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本機の電源を切って電源コードを抜いてください。電源コードを入れなおし、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本機）を選び、再度設定してください。 ⇒ HTML マニュアル「ネットワーク設定」－「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
ソフト（Macintosh®）	Brother Ink がセレクタに表示されない。	プリンタの電源が入っていますか。	プリンタの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	プリンタドライバを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されている Macintosh® のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされていますか、また、セレクタで選択されていますか。	供給されている Macintosh® のプリンタドライバをシステムフォルダに正しくインストールして、セレクタで選択してください。
その他	電源が入らない。	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込んでください。雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。
	操作をしていないのに、本機が動き出す。	本機は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	①出力された記録紙の下端が汚れる。 ②出力された記録紙が揃わない。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 25 ページ「記録紙のセットのしかた」
	本機に接続されている電話機から電話をかけたとき、間違った相手にかかったり、正しくダイヤルされない。	お使いの電話の環境が影響している可能性があります。	受話器をあげて、発信音（ツー音）を確認してからダイヤルしてください。
	液晶ディスプレイの文字が読みにくい。	液晶ディスプレイのコントラストを「コク」に設定してください。 ⇒ 35 ページ「液晶ディスプレイのコントラストを設定する」	

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。お買い上げ時は「イッパン」に設定されています。

1 機能/確定、0、5 を押す

◆ 特別回線対応の設定画面が表示されます。

ショキ　セッテイ
5. トクベツカイセン　タイオウ

2 で回線種別を選び、機能/確定 を押す

回線種別は、お使いの環境に合わせて、「イッパン」、「ISDN」、「PBX」から選びます。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

「PBX」に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が「Off」になります。ナンバー・ディスプレイの設定を「On」にするときは、特別回線対応の設定を「イッパン」にしてください。

安心通信モードに設定する

[安心通信モード]

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、「安心通信モード」の設定を変えます。お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

1 機能/確定、2、0 を押す

◆ 安心通信モードの設定画面が表示されます。

ファクス
0. アンシン ツウシン　モード

2 で「ヒョウジュン」または「アンシン」を選び、機能/確定 を押す

注意

■「アンシン」に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

ファクスの送信・受信にかかる時間は、「ヒョウジュン」→「アンシン」の順に、長くなります。

IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロを 4 つ）付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。

ファクスの通信エラーは、本機の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本機の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。

- 通信回線の品質
- 信号レベル
- 通信相手機の影響
- 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

ダイヤルトーン検出の設定を「ケンチ スル」にすると、ファクス通信時により早く確実にダイヤルできます。

注意

■ 接続環境によっては、「ケンチ　スル」にすると送信ができない場合があります。その場合は「ケンチ　シナイ」に設定してください。

1 機能/確定、0、4 を押す

◆ ダイヤルトーン検出の設定画面が表示されます。

ショキ　セッテイ
4. ダイヤルトーン　セッテイ

2 で「ケンチ　スル」または「ケンチ　シナイ」を選び、機能/確定 を押す

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

初期状態に戻す

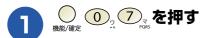
登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

注意

- ■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをご確認の上、操作してください。⇒ 73 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」
- ■ 初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒ 67 ページ「電話帳リストを印刷する」

個人情報を消去する

次の内容を一度にすべて消去することができます。

- ・ お客様の名前・電話番号（⇒ 39 ページ「名前とファクス番号を設定する」）
- ・ 電話帳の内容（⇒ 64 ページ「電話帳を作成する」）
- ・ グループダイヤルの内容（⇒ 66 ページ「グループダイヤルを登録する」）
- ・ 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容
- ・ ファクス転送先の内容と転送設定解除（⇒ 75 ページ「ファクスを転送する・電話を呼び出す」）
- ・ 暗証番号（⇒ 70 ページ「暗証番号を設定する」）
- ・ メモリーの内容
- ・ PC-FAX 受信データの未転送分（パソコンに転送したファクスのデータは消去されません。）
- ・ タイマー送信する相手先の内容（⇒ 47 ページ「時間を指定して送る」）
- ・ 一括に送信する相手先の内容（⇒ 53 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）
- ・ 着信履歴の内容（⇒ 65 ページ「着信履歴から電話帳に登録する」）
- ・ 通信管理レポートの内容（⇒ 59 ページ「通信管理レポートを印刷する」）

1 を押す

◆ 個人情報を消去する設定画面が表示されます。

ショキセッテイ
7. コジンジョウホウ　クリア

2 1 を押す

◆ 確認メッセージが表示されます。

1. ケッテイ　2. キャンセル

3 もう一度 1 を押す

◆「ウケツケマシタ」と表示されたあと、「オマチクダサイ」と表示されます。

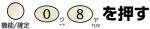
ウケツケマシタ

個人情報が消去されたあと、待ち受け画面に戻ります。

機能設定を元に戻す

本機の以下の設定を一度にお買い上げ時の状態に戻すことができます。ただし、個人情報は消去されません。

- 回線種別の設定
  （⇒22 ページ「回線種別を設定する」）
- 現在の日付と時刻
  （⇒22 ページ「日付と時刻を設定する」）

   を押す

◆ **機能の設定を元に戻す設定画面が表示されます。**

ショキセッテイ
8. キノウセッテイ　リセット

2 ①ア **を押す**

◆ **確認メッセージが表示されます。**

1. ケッテイ　2. キャンセル

3 ①ア **を押す**

◆ **「ウケツケマシタ」と表示されたあと、「オマチクダサイ」と表示されます。**

ウケツケマシタ

設定した機能が消去されたあと、回線種別設定画面が表示されます。

本機を強制リセットする（修理を依頼される前に）

本機に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 電話帳リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源コードを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**これだけでも、改善される場合があります。
（ただし、着信記録、通信管理レポート、送信メモリー文書、受信メモリー文書は消去されます。）

強制リセットをしても、不具合が改善されないときは「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）：0570-031523」へご連絡ください。

停電になったときは

停電したときは以下のようにデータが消去されます。

消去されないデータ	短縮ダイヤル、グループダイヤル、各種登録・設定内容
停電で消去されるデータ	着信記録、通信管理レポート、送信メモリー文書、受信メモリー文書

注意

- 日付と時刻は再度設定し直してください。⇒22ページ「日付と時刻を設定する」
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。
- 停電中はファクスの送受信ができません。本機の機能はすべて使用できなくなります。
- 本機に接続している電話機は、停電中でも使用できる機器もあります。詳しくは、お使いの電話機の取扱説明書をご覧ください。

本機を輸送するときは

引っ越しなどで本機を輸送するときは、以下の点に注意してください。

- **インクカートリッジをすべて抜き取り、保護部材を取り付けてください。**
  保護部材は、本機をお買い上げの際に入っていた物をご使用ください。

- **保護部材がない場合は、インクカートリッジを入れたまま輸送してください。**
  保護部材またはインクカートリッジを取り付けずに本機を輸送すると、本機に障害を与える可能性があります。

- **USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は本機から外してください。**

付　録

文字の入れかた

発信元登録、電話帳の登録では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字

ボタンを押す回数に応じて、入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
1 ア	アイウエオァィゥェォ 1
2 カ ABC	カキクケコ ＡＢＣ 2
3 サ DEF	サシスセソ ＤＥＦ 3
4 タ GHI	タチツテトッ ＧＨＩ 4
5 ナ JKL	ナニヌネノ ＪＫＬ 5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ ＭＮＯ 6
7 マ PQRS	マミムメモ ＰＱＲＳ 7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ ＴＵＶ 8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ ＷＸＹＺ 9
0 ワ ゛゜	ワヲン゛゜ー 0
トーン ＊ 記号1	（スペース）！"＃＄％＆'（）＊＋，－．／€
＃ 記号2	:; <＝ >?@［］^_

文字の入れかた（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	0 ワ゛゜ ～ 9 ラ WXYZ 、トーン ＊ 記号1 、＃ 記号2 を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ ポーズ（約３秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※ 入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「ー」（ハイフン）で表示されます。
文字を削除する	停止/終了 を押すと、（カーソル）以降の文字をすべて削除する
文字を変更する	を押して（カーソル）を戻し、文字を入力する（上書きされます）
スペース（空白）を入れる	を押して（カーソル）を右に移動させる （文字のときは トーン ＊ 記号1 （1回押）でもスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（トーン ＊ 記号1 または ＃ 記号2 ）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	を押して、（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	機能/確定 を押す

入力例

発信元登録や電話帳登録で「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 サ DEF を３回押す	ス
を１回押す	ス
3 サ DEF を３回押す	スス
0 ワ ゛゜ を４回押す	スス゛
2 カ ABC を２回押す	スズ キ
を２回押す （または トーン ＊ 記号1 を１回押す）	スズ キ
2 カ ABC を４回押す	スズ キ ケ
1 ア を２回押す	スズ キ ケイ
2 カ ABC を５回押す	スズ キ ケイコ

機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

■ 機能/確定 から操作する機能

<基本的な設定>

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	操作	参照ページ
1. キホン　セッテイ	1. モード タイマー		ファクスモードに戻る時間を設定します。「Off」を選ぶと最後に使ったモードを保持します。	0 ビョウ／ 30 ビョウ／ 1 フン／ **2 フン**／ 5 フン／ Off	機能/確定 1 1	20 ページ
	2. キロクシ タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて、設定します。	**フツウシ**／インクジェットシ／コウタクシ／ OHP フィルム	機能/確定 1 2	27 ページ
	3.オンリョウ	1.チャクシン オンリョウ	着信音の音量を設定します。	Off ／ショウ／**チュウ**／ダイ	機能/確定 1 3 1	34 ページ
		2.ボタンカクニン オンリョウ	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	Off ／**ショウ**／チュウ／ダイ	機能/確定 1 3 2	34 ページ
		3.スピーカー オンリョウ	オンフック時の音量を設定します。	Off ／ショウ／**チュウ**／ダイ	機能/確定 1 3 3	35 ページ
	4. デンゲン Off　セッテイ		電源を OFF にしたときの動作を設定します。	**ヨビダシヲ スル**／ヨビダシヲ シナイ	機能/確定 1 4	21 ページ
	5. ガメンノ　コントラスト		画面のコントラストを設定します。	**ウスク**／コク	機能/確定 1 5	35 ページ

<ファクス機能>

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	操作	参照ページ
2. ファクス	1.ジュシン セッテイ	1. ヨビダシ　カイスウ	「ファクス専用モード」と「自動切替モード」の場合に、自動受信するまでの呼出回数を設定します。	00 から 10（初期設定は **04**）	機能/確定 2 1 1	33 ページ
		2. サイ　ヨビダシ カイスウ	「自動切替モード」のとき、着信音の後に鳴る呼出音の回数を設定します。	**08** ／ 15 ／ 20	機能/確定 2 1 2	33 ページ
		3. シンセツ　ジュシン	自動受信する前に本機と接続している電話を取った場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	On ／ **Off**	機能/確定 2 1 3	55 ページ
		4. リモート　ジュシン	本機と接続している電話機からファクスを受信する機能を設定します。	On ／ **Off**	機能/確定 2 1 4	56 ページ
		5. ジドウ　シュクショウ	A4 サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小するかしないかを設定します。	**On** ／ Off	機能/確定 2 1 5	55 ページ
		6. ポーリング ジュシン	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	ヒョウジュン／キミツ／タイマー	機能/確定 2 1 6	57 ページ

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
2. ファクス	2.ソウシン セッテイ	1. ゲンコウ ノウド	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**ジドウ**／ウクス／コク	機能/確定 2 2 1	45 ページ
		2. ファクス ガシツ	送信時の画質を設定します。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	**ヒョウジュン**／ファイン／スーパーファイン／シャシン	機能/確定 2 2 2	45 ページ
		3. タイマー ソウシン	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	シテイジコク =00:00	機能/確定 2 2 3	47 ページ
		4. トリマトメ ソウシン	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	On ／ **Off**	機能/確定 2 2 4	48 ページ
		5. リアル タイム ソウシン	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	On／**Off**／コンカイノミ	機能/確定 2 2 5	49 ページ
		6. ポーリング ソウシン	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	ヒョウジュン／キミツ	機能/確定 2 2 6	50 ページ
		7. カイガイソウシン モード	海外にファクスを送るときに設定します。	On ／ **Off**	機能/確定 2 2 7	52 ページ
	3. デンワチョウ トウロク	1. デンワチョウ / タンシュク	2 桁の短縮番号に、相手先番号と名前を登録します。		機能/確定 2 3 1	64 ページ
		2. デンワチョウ / グループ	複数の相手先を「グループ」として登録します。		機能/確定 2 3 2	66 ページ
	4. レポート セッテイ	1. ソウシン レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	On ／ On ＋イメージ／Off ／ **Off ＋イメージ**	機能/確定 2 4 1	60 ページ
		2. ツウシン カンリ カンカク	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポートシュツリョクシナイ／ **50 ケンゴト**／ 6 ジカンゴト／ 12 ジカンゴト／24ジカンゴト／2カゴト／7カゴト	機能/確定 2 4 2	59 ページ
	5. オウヨウ キノウ	1. テンソウ/メモリージュシン	ファクスを転送したり、メモリー受信の設定を行います。	**Off**／ファクス テンソウ／デンワ ヨビダシ／メモリー ジュシン／ PC ファクス ジュシン	機能/確定 2 5 1	73 〜76 ページ
		2. アンショウ バンゴウ	外出先から本機を操作するための暗証番号を設定します。	アンショウバンゴウ：－－－＊	機能/確定 2 5 2	70 ページ
		3. ファクス シュツリョク	メモリーに蓄積されたファクスを印刷します。		機能/確定 2 5 3	73 ページ
	6. ツウシン マチ カクニン		タイマー送信の設定を確認したり解除したりできます。		機能/確定 2 6	61 ページ
	7. チャクシン リレキ		着信履歴から電話帳に登録できます。		機能/確定 2 7	65 ページ
	0. アンシン ツウシン モード		安心通信モードに設定します。	**ヒョウジュン**／アンシン	機能/確定 2 0	126 ページ

<コピー機能>

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	操作	参照ページ
3. コピー	1. コピー　ガシツ	コピー画質を設定します。	コウソク／**ヒョウジュン**／コウガシツ	機能/確定 3 1	87 ページ
	2. アカルサ	明るさを調整します。	−□□■□□＋	機能/確定 3 2	87 ページ
	3. コントラスト	コントラスト（色の濃度）を調整します。	−□□■□□＋	機能/確定 3 3	88 ページ
	4. カラー チョウセイ　1. レッド	色のバランスを調整します。	R: −□□■□□＋	機能/確定 3 4 1	88 ページ
	4. カラー チョウセイ　2. グリーン		G: −□□■□□＋	機能/確定 3 4 2	88 ページ
	4. カラー チョウセイ　3. ブルー		B: −□□■□□＋	機能/確定 3 4 3	88 ページ

<フォトメディアキャプチャ機能>

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	操作	参照ページ
4. フォトメディア　キャプチャ	1. プリント　ガシツ	プリント時の画質を設定します。	ヒョウジュン／**シャシン**	機能/確定 4 1	97 ページ
	2. キロクシ&プリントサイズ	記録紙の種類とプリントするサイズを設定します。	**L バンタテ コウタクシ**／2L バンタテ コウタクシ／ハガキタテ コウタクシ／ハガキタテ インクジェットシ／ハガキタテ フツウシ／A4 コウタクシ／ A4 インクジェットシ／ A4 フツウシ	機能/確定 4 2	98 ページ
	3. アカルサ	プリントの明るさを調整します。	−□□■□□＋	機能/確定 4 3	99 ページ
	4. コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	−□□■□□＋	機能/確定 4 4	99 ページ
	5. ガシツ　キョウチョウ	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	On： 1. ホワイトバランス −□□■□□＋ 2. シャープネス −□□■□□＋ 3. カラー チョウセイ −□□■□□＋ **Off**：	機能/確定 4 5	99 ページ
		<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。			99 ページ
		<カラー チョウセイ> 画像のカラー全体の濃度を調整します。			99 ページ
	6. ガゾウ　トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかしないかを設定します。	**On** ／ Off	機能/確定 4 6	100 ページ
	7. フチナシ　インサツ	ふちなし印刷をするかしないかを設定します。	On ／ **Off**	機能/確定 4 7	100 ページ
	8.スキャン TO カード　1.スキャン　ガシツ	スキャン TO カード時の画質を設定します。	モノクロ200x100dpi／モノクロ 200dpi ／**カラー 150dpi** ／カラー300dpi／カラー600dpi	機能/確定 4 8 1	102 ページ
	8.スキャン TO カード　2. モノクロ　ファイルタイプ	モノクロでスキャンするときのファイル形式を設定します。	**TIFF** ／ PDF	機能/確定 4 8 2	102 ページ
	8.スキャン TO カード　3. カラー　ファイルタイプ	カラーでスキャンするときのファイル形式を設定します。	**PDF** ／ JPEG	機能/確定 4 8 3	102 ページ

＜ネットワーク設定＞

本機をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、HTML マニュアルをご覧ください。⇒ HTML マニュアル「ネットワーク設定」

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作
5. LAN	1.TCP/IP セッテイ	1.IP シュトク　ホウホウ	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP	機能/確定 5 1 1
		2.IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255].	機能/確定 5 1 2
		3. サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255].	機能/確定 5 1 3
		4. ゲートウエイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255].	機能/確定 5 1 4
		5. ホスト　メイ	ホスト名を設定します。	BRN_XXXXXX=（イーサネットアドレスの末尾 6 文字、最大 15 文字）	機能/確定 5 1 5
		6.WINS　セッテイ	WINSの解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static	機能/確定 5 1 6
		7.WINS　サーバ	WINS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ	機能/確定 5 1 7
		8.DNS　サーバ	DNS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ	機能/確定 5 1 8
		9.APIPA	APIPA を設定します。	**On** ／ Off	機能/確定 5 1 9
	2. ソノタ セッテイ	1. イーサネット	LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD	機能/確定 5 2 1
		2. タイム　ゾーン	お住まいの国のタイムゾーンを設定します。	UTC ＋ XX:XX	機能/確定 5 2 2
	0、LAN セッテイ　リセット		ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。		機能/確定 5 0

＜初期設定＞

機能	設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	操作	参照ページ
0. ショキ　セッテイ	1. トケイ　セット	液晶ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。		機能/確定 0 1	22 ページ
	2. ハッシンモト　トウロク	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	ファクス／ナマエ	機能/確定 0 2	39 ページ
	3. カイセンシュベツ　セッテイ	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ カイセン／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル20PPS ／**ジドウ セッテイ**	機能/確定 0 3	22 ページ
	4. ダイヤルトーン　セッテイ	ダイヤルトーンの検出をするかしないかを設定します。	ケンチ　スル／**ケンチ　シナイ**	機能/確定 0 4	127 ページ
	5. トクベツカイセン　タイオウ	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**イッパン**／ISDN ／PBX	機能/確定 0 5	126 ページ
	6. ナンバー　ディスプレイ	相手の番号を表示するかしないかを設定します。	On ／ **Off** ／ソトヅケデンワ ユウセン	機能/確定 0 6	36 ページ
	7. コジンジョウホウ　クリア	電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。		機能/確定 0 7	128 ページ
	8. キノウセッテイ　リセット	本機の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。		機能/確定 0 8	129 ページ

■ コピー設定 から操作する機能

コピー設定 を押して、で項目を選びます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
コピー　ガシツ	印刷品質に合わせて設定します。	コウソク／**ヒョウジュン**／コウガシツ	81 ページ
カクダイ / シュクショウ	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	カスタム（25 - 400%） 204%　ハガキ→ A4 200% 142%　A5 → A4 115%　B5 → A4 113%　L バンタテ→ハガキ **100%　トウバイ** 86%　A4 → B5 77%　L バンヨコ→ハガキ 69%　A4 → A5 50% 46%　A4 →ハガキ	82 ページ
キロクシ　タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**フツウシ**／インクジェットシ／コウタクシ／ OHPフィルム	83 ページ
キロクシ　サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ B5 ／ A5 ／ハガキ	83 ページ
アカルサ	原稿に合わせて設定します。	－□□■□□＋	84 ページ
レイアウト　コピー	原稿をレイアウトしてコピーするとき設定します。	**Off（1 in 1）**／ 2 in 1（タテナガ）／ 2 in 1（ヨコナガ）／4 in 1（タテナガ）／ 4 in 1（ヨコナガ）／ポスター（3X3）	86 ページ
コピー　マイスウ	2 部以上コピーするときに設定します。	**1** ～ 99	－

■ メモリーカードをセットした状態で デジカメプリント から操作する機能

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
インデックスプリント	インデックスプリントを印刷します。	**ハヤイ／1ギョウ6コインサツ**、 キレイ／1ギョウ5コインサツ	92ページ
シャシンプリント	印刷したい写真を、№で指定して印刷します。	NO:	93ページ

■ ファクス画質 から操作する機能

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
ファクス　ガシツ	原稿に合わせて設定します。	**ヒョウジュン**／ファイン／ スーパーファイン／シャシン	44ページ

■ レポート から操作する機能

設定項目	機能説明	参照ページ
ソウシン　レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	60ページ
キノウアンナイ	本機の機能一覧を印刷します。	116ページ
デンワチョウ　リスト	短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている内容を印刷します。	67ページ
ツウシンカンリ　レポート	送信・受信した最新の200通分の結果を印刷します。	59ページ
セッテイナイヨウ　リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	116ページ
LANセッテイナイヨウリスト	ネットワークの設定内容を印刷します。	HTMLマニュアル「ネットワーク設定」
チャクシンリレキ　リスト	着信履歴を印刷します。	67ページ
ゴチュウモン　シート	インクカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのご注文シートを印刷します。	115ページ

仕様

■ ファクス

形式	ITU-T Group 3（G 3）
圧縮方式	MH/MR/MMR/JPEG
電送時間 *1	約 6 秒
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動フォールバッグ付き）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時： 最大　幅 216mm ×長さ 297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大　幅 216mm ×長さ 356mm
記録紙サイズ	A4（幅 210mm ×長さ 297mm）
最大有効読取範囲	幅 208mm ×長さ 291mm
最大有効記録幅	205mm
記録方式	インクジェット式
読取方式	CIS 方式
ハーフトーン	256 階調
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査（モノクロ時） ・標準：3.85 本 /mm ・ファイン / 写真：7.7 本 /mm ・S. ファイン：15.4 本 /mm 副走査（カラー時） ・標準：7.7 本 /mm ・ファイン：7.7 本 /mm ※「写真」「S. ファイン」なし
適用回線	一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
メモリー記憶枚数 *2*3	約 400 枚

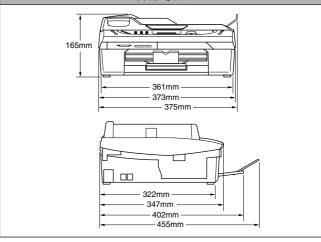
*1： A4 サイズ700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で高速モード（14400bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
*2： A4 サイズ700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。
*3： メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

■ プリンタ＆スキャナ

対応パソコン	PC/AT 互換機 Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機
対応 OS	Windows® 98/98SE/Me Windows® 2000Professional/XP Mac OS 9.1 ～ 9.2 Mac OS X 10.2.4 以降
インターフェース	USB インターフェース対応
プリント方式	インクジェット式
プリント解像度	1200 × 6000dpi
プリント速度	カラー 15 枚 / 分　モノクロ 20 枚 / 分 （ドラフトモード、普通紙、当社基準 A4 原稿給紙時間除く）
スキャナ解像度	光学解像度 600（主走査）dpi X 2400（副走査）dpi

■ 電源その他

使用環境	温度：10 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80%
電源	AC100V ± 10V　50 ／ 60Hz
消費電力	動作時：平均 23W 以下 待機時：平均 9.5W 以下
稼働音	動作時：42.5 ～ 51dBA ※お使いの機能により数値は変わります。
メモリ容量	16MB
本体重量	約 6.0kg（インクカートリッジ／付属品を除く）

外形寸法

■ コピー

コピースピード	モノクロ： 17 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） カラー： 11 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） ※給紙時間を除きます。
拡大縮小	25 ～ 400（%）
プリント解像度	普通紙・インクジェット紙・光沢紙： 最大 600（主走査）X 1200（副走査）dpi OHP フィルム：最大 1200 X 1200 dpi

■ フォトメディアキャプチャ

対応メディア	●スマートメディア®（3.3V） ※ ID 付きスマートメディアの ID 機能には対応していません。 ●メモリースティック® ※ メモリースティック PRO、マジックゲート TM メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオも使用できます。 ※ メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオを本機にセットするときは、アダプターが必要です。 ※ マジックゲート機能（著作権保護機能）はご利用いただけません。 ●コンパクトフラッシュ®（TYPE1） ※ マイクロドライブ、TYPE2 には対応していません。 ※ 無線 LAN カードなどのデバイス系のカードには対応していません。 ● SD メモリーカード TM ※ miniSD メモリーカード（TM）を本機にセットするときは、アダプターが必要です。 ● xD- ピクチャーカード TM ※ TypeM（高容量対応）シリーズに対応しています。 ●マルチメディアカード TM
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	●デジカメプリント JPEG 形式 ※ 拡張子が「.jpg」のファイルに限ります。 ※ プログレッシブ JPEG には対応していません。 ※ ファイルとフォルダをあわせて 999 個までの対応です。 ※ 4 階層以上のフォルダには対応していません。 ●スキャン TO カード カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ：TIFF 形式、PDF 形式

※ 外観･仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

使用環境

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

Windows® の場合

本機とパソコン（Windows®）を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリ
Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional Pentium® Ⅱプロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB （推奨 128MB ）以上 Windows® XP/ Pentium® Ⅱプロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB （推奨 256MB ）以上
ディスク容量
300MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
Web ブラウザ
Microsoft Internet Explorer 5 以上が必要です。 ※ Microsoft Internet Explorer 6 以上を推奨します。
インターフェース
● USB 2.0 フルスピード ● ネットワーク（10BASE-T）／（100BASE-TX） ※ USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は、市販品をご利用ください。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。 ※ USB2.0　ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。 ※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

- メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Windows® 2000 Professional/XP を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。
- Windows® XP Professional x64 Edition をお使いの場合は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からドライバをダウンロードしてください。

Macintosh® の場合

本機と Macintosh® を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS
MacOS 9.1 ～ 9.2 MacOS X 10.2.4 以降
ディスク容量
280MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
インターフェース
● USB 2.0 フルスピード ● ネットワーク（10BASE-T）／（100BASE-TX） ※ USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は、市販品をご利用ください。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。 ※ USB2.0 ハイスピード対応のMacintosh®でもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。 ※ USB1.1 対応の Macintosh® とも接続できます。

- メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp

注意

■ **Mac OS 10.2 をお使いの場合は、Mac OS 10.2.4 以降へのアップグレードが必要となります。**

用語解説

＝あ＝

● **アース端子**
アース（接地）を行う場合に使用します。使用環境によっては、アースを行うと通信性能や耐ノイズ性能が改善します。

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェース**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**
受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッタ**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプタ**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows の画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **取りまとめ送信**
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバー・ディスプレイ（ND）**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を液晶ディスプレイに表示する NTT のサービスです。このサービスを利用するには、NTT との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**
受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタドライバ**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を 9 分割して拡大し、それぞれを 9 枚の記録紙にコピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本機のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**
本機に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● **ログオン（ログイン）**
パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2 in 1**
2枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4 in 1**
4枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● **ADF（自動原稿送り装置）**
複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● **ADSL**
通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● **CMYK**
Cyan、Magenta、Yellow、blacKの4文字を示しています。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。印刷にはCMYに加え黒インクを併用します。

● **CSV形式**
Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● **DPI**
Dot Per Inch の略で、1インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● **ECM通信**
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● **IP フォン**
インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● **ISDN**
デジタル回線による通信サービスです。1回線でパソコンと電話など一度に2回線分使うことができます。

● **OCR 機能**
Optical Character Recognition（光学的文字認識）の略で、スキャナで画像データとして読み込んだ文字を、文字認識技術によって編集可能なテキストデータに変換する機能です。

● **OS**
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● **PBX（構内交換機）**
企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● **PC**
Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● **PC/AT 互換機**
IBM社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● **PC-FAX**
パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● **PC-FAX 受信**
受信したファクスを本機と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● **TWAIN**
Technology Without Any InterestedName の略でスキャナなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto!PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● **USB ケーブル**
Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● **Vcards(vcf 形式)**
電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● **WIA**
Windows Imaging Acquisition の略で、スキャナなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto!PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® Me/XP で標準サポートされています。

索　引

数字

A

C

D

M

O

P

U

W

X

あ

い

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

ね

は

ふ

へ

ほ

め

も

よ

り

れ

リモコンアクセスカード

外出先から本機を操作する場合（⇒ 70 ページ「外出先から本機を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。もう一度やり直してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、暗証番号を入力します。
3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、受信したファクスはありません。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたら、リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容		ボタン操作
メモリー受信をOFFにする（※1）		951
ファクス転送の設定		952（※2）
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号+＃＃
メモリー受信をONにする		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+＃＃
受信状況のチェック	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電モード	981
	自動切替モード	982
	ファクスモード	983
終了		90

※1：電話呼出やファクス転送の設定も解除されます。
※2：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

特許、規制

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を開発・普及させることを目的としています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Presto! PageManager は、NewSoft Technology Corp. の登録商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
Memory Stick、メモリースティック、MagicGate Memory Stick、マジックゲートメモリースティックはソニー株式会社の商標もしくは登録商標です。
SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD- ピクチャーカードは富士写真フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

関連製品のご案内

消耗品

■ インクカートリッジ

インクが残り少なくなったら、以下のインクカートリッジをお買い求めください。

種類	型番	印字可能枚数＊
ブラック	LC09BK	500 枚
マゼンタ	LC09M	400 枚
イエロー	LC09Y	400 枚
シアン	LC09C	400 枚
4 色セット （ブラック / マゼンタ / イエロー / シアン）	LC094PK	ブラック：500 枚 マゼンタ / イエロー / シアン：各色 400 枚

＊ A4 サイズで 5%印刷密度、標準モードでの印刷可能枚数です。

インクカートリッジは、ご注文シートを使って注文できます。⇒ 115 ページ「消耗品を注文したいときは」

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP60GLA（A4）、 BP60GLLJ（L 判）	20 枚入り
マット紙	インクジェット紙 （マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

また、OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。

- Transparency 3M Transparency Film（型番：CG3410）

最新の専用紙・推奨紙については、以下のホームページをご覧ください。
http://solutions.brother.co.jp

専用紙は、ご注文シートを使ってダイレクトクラブでご購入いただけます。⇒ 115 ページ「消耗品を注文したいときは」

ご注文シート

ご注文シート

・消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、電話、ﾌｧｸｽによるご注文も承っております。

・ﾌｧｸｽにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。

・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
5,000円未満の場合は500円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）

・納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。

・配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞　・・・・**ご注文後２～３営業日後の商品発送**

※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・**ご入金確認後２～３営業日後の商品発送**

※　代金は先払いとなります。(銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振込下さい。)

※　振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞　・・・・**カード番号確認後２～３営業日後の商品発送**

※　カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

【ご注文先】　ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ：http://direct.brother.co.jp

FAX：０５２－８２５－０３１１

TEL：０１２０－１１８－８２５

（土・日・祝日、長期休暇を除く 9:00～12:00 13:00～17:00）

振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社

銀行：三井住友銀行　上前津(カミマエヅ)支店　普通　6428357

郵便：振り込み番号　00860-1-27600

お客様ご住所 〒

お名前　　ＴＥＬ　　ＦＡＸ

お支払い方法　銀行前振込 ・ 郵便前振込 ・ 代引き ・ カード

カード種類　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードＮＯ

カード名義人名　　有効期限　年　月

商品名	単価(税込)	ご注文数	金額
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(黒)　LC09BK	2,310円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(ｼｱﾝ)　LC09C	1,365円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(ﾏｾﾞﾝﾀ)　LC09M	1,365円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(ｲｴﾛｰ)　LC09Y	1,365円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ4色ｾｯﾄ　LC094PK	ｵｰﾌﾟﾝ価格※1		
上質普通紙　＜A4＞ BP60PA	683円		
写真光沢紙　＜A4＞ BP60GLA	1,470円		
写真光沢紙　＜L判＞ BP60GLLJ	420円		
ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ紙（ﾏｯﾄ仕上げ）＜A4＞ BP60MA	504円		
		送料	
		合計	

※1：単価については、ダイレクトクラブにお問い合わせください。

配送料および消費税は変更の可能性があります。

（消費税：2005年5月現在）

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）】

MFC 製品のご質問と障害に関するご相談

TEL：

0570-031523

（052-824-5149）

受付時間： 月～金　9：00 ～20：00
土　　9：00 ～ 17：00

日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日は休みとさせていただきます。

サービス＆サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp

【消耗品ご注文窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL ：0120-118-825
（土・日・祝日、長期休暇を除く　9：00　～　12：00
13：00～ 17：00）
FAX ：052-825-0311

ホームページ：http://direct.brother.co.jp

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAX にてご注文いただく場合は、ユーザーズガイドの「ご注文シート」を印刷してご活用ください。

brother

〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
ブラザー工業株式会社

※ ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口 （ブラザーコールセンター）0570-031523」にご連絡ください。

※ Presto!®PageManager® については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL : 03-5472-7008 FAX : 03-5472-7009 10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。